

高知県立大学 健康栄養学部

学部報

第5号

平成26(2014)年度

学部報第5号発刊にあたって

高知県立大学

健康栄養学部長 和田 安彦

生活科学部健康栄養学科が健康栄養学部に昇格し、キャンパス移転、定員も40名に増員となつてから5年が経ちました。本冊子はその平成26年度（2014年度）の教育・研究活動をまとめたものです。近年、いろいろな形で大学や教員の評価が行われるようになってきました。すなわち、大学として7年ぶりの外部評価が平成26年度から27年度にかけて行われていきますし、教員評価も平成26年度から試験的に導入されました。本冊子はそのための貴重な基礎資料となります。各人も自身の「大学人」としての活動を客観的に見直すため、あるいは教職員の相互理解のために本冊子を役立ててください。

平成26年度の学部の歩みを振り返りますと、4月に新任准教授1名が加わり、教員数15名の教員体制となりました。他大学の良い点も取り入れながら、生活科学部から引き継がれた複雑系科学と生活文化の学術的伝統と、それに裏打ちされたきめ細やかな教育活動を行って参りました。本年度も全員の卒業、100%就職率、高い管理栄養士国家試験合格率などの教育成果につながったと考えています。

教育環境整備として前年度末に導入した大型高速カラー印刷機により、教材等の量的増加（2-3倍）とカラー比率の増加（平成26年度40%）が見られ、一定の教育環境改善へとつながったと考えています。学生の教育の一環として、マレーシア国立サバ大学へ初めて学生を短期研修に派遣し、その他学生ボランティア活動も盛んに行われました。

社会貢献活動としては11月に公開講座「食の安全と日本人 - ゼロリスク幻想（安心）からの脱却 -」を開催しました。日本人は食品の安全性と機能性（健康効果）について科学的基盤の上で議論するというより、感情論に走ったり権威者にすべてを任せて思考停止（安心）してしまう傾向にあると言われていています。折しも平成27年度には、いわゆる健康食品をはじめとする食品の効果や安全性の表示に関する国の制度が変わり、国民一人一人の判断が重要となってきました。この意味で時宜を得た地域貢献となったと考えています。

FD活動としては、近年我が国の科学研究の信頼性を揺るがす複数の事件（利益相反問題と論文不正など）が起きたことから、これらを他山の石として自らを振り返るための講演会「生命科学と研究倫理」を全学FD委員会との共催の形で開催しました。また昨今、地域社会の疲弊から地域創成への期待が高まり、大学もこのための成果が求められています。やはり地域社会や世界の地域を広い視野から見ることの出来る人材の育成が最も重要です。そのためには、ものの見方・考え方の基礎をじっくりと学ばせ批判的にものごとを考えられる人材を育成すること、このための長期的視野に立った教育とその基盤となる研究が大学に求められていることではないでしょうか。今一度大学の使命と役割を認識し、真の社会貢献とは何かを考えていきたいと思えます。そのためにも本冊子を活用いただければ幸いです。

健康栄養学部の教育理念・目的

(理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

(目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

目 次

学部報第5号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

I. 学部の記録

1. 2014年度学生数一覧	3
2. 長期在学・休学・退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 研究成果の公表の状況	6
7. 国内外学会等への参加	9
8. 講習会・公開講座	12
9. 地域・学外の活動	12
10. 国際交流委員会活動	15
11. 国家試験対策委員会	17
12. 学部就職支援	18
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	23
14. 高知医療センター・高知県立大学包括 的連携協議会 健康栄養連携部会事業	24
15. 災害プロジェクト委員会	26
16. 健康栄養学部リカレント講座	28
17. 委員会一覧	29
18. 入学試験状況の概要 (2015年度)	30

II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	33
2. 教育における学外施設の利用状況	34
3. 資格所得状況の概要 (2014年度)	35
4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)	35
5. 就職状況の概要	35
6. インターシップの実施状況 (2014年度)	35
7. 学生の海外研修等 (2014年度)	35
8. 2014年度 卒業研究題目一覧	36
9. 学生の受賞	37
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	38

III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦	41
2. 中村 富予	43
3. 村上 尚	45
4. 渡邊 浩幸	46
5. 荒牧 礼子	48
6. 鈴木 麻希子	50
7. 西岡 道子	52
8. 島田 郁子	53
9. 廣内 智子	55
10. 田中 守	57
11. 沼田 聡	60
12. 水島 直子	62
13. 彼末 富貴	63
14. 川村 真美	65
15. 逸見 幾代	66

I. 学部の記録

1. 2014 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流委員会活動
11. 国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
15. 災害プロジェクト委員会
16. 健康栄養学部リカレント講座
17. 委員会一覧
18. 入学試験状況の概要 (2015 年度)

1. 2014 年度学生数一覧

() 内：男子

在学学生数						科目等履修生
1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	5 回生～	合計	
42 (1)	41 (3)	40 (3)	41 (1)	0	165 (8)	0

2. 長期在学・休学・退学の状況 (2014 年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7 年)
0	0	0

3. 健康栄養学部教員一覧

職 名	氏 名	専門分野 (担当科目)
教 授 (学部長)	和田 安彦	健康生態学・公衆衛生学
教 授	中村 富子	臨床栄養学
教 授	村上 尚	人体の構造と機能
教 授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講 師	島田 郁子	給食経営管理
講 師	廣内 智子	臨床栄養学臨地実習
助 教	田中 守	生化学・栄養学実験
助 教	沼田 聡	給食経営管理実習
助 教	水島 直子	公衆栄養学実習
助 手	彼末 富貴	調理学実習
助 手	川村 真美	食品学実験
特任教授	逸見 幾代	栄養教育論

4. 授業科目と教員配置

科目名	担当者
基礎科目	
健康栄養学基礎	和田安彦, 渡邊浩幸, <u>團野哲也</u>
健康栄養学応用	<u>團野哲也</u>
社会・環境と健康	
地域健康論	和田安彦
介護論	和田安彦, (非)森岡美帆
食と介護	和田安彦, (非)森岡美帆
保健医療福祉論	<u>田中きよむ</u>
地域医療論	未開講
公衆衛生学	和田安彦
環境衛生学実習	和田安彦
健康情報論実習	和田安彦
こころと身体活動	(非)網師本真季
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	
生化学Ⅰ	村上尚, 鈴木麻希子 (非)清澤秀孔
生化学Ⅱ	(非)清澤秀孔
生化学実験	(非)富永麻理
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)大倉三洋
生体科学実験・実習	村上尚
食べ物と健康	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸
食品衛生学実験	渡邊浩幸
フードシステム学	(非)中西三紀
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
基礎栄養学	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
応用栄養学	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ 栄養学	鈴木麻希子
栄養教育論	
栄養教育論Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論Ⅱ	逸見幾代

科目名	担当者
栄養教育論Ⅲ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅱ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅰ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅱ	逸見幾代
臨床栄養学	
臨床栄養学Ⅰ	中村富予
臨床栄養学Ⅱ	中村富予
臨床栄養学Ⅲ	中村富予
臨床実践栄養学	中村富予
臨床栄養学実習Ⅰ	中村富予
臨床栄養学実習Ⅱ	中村富予
公衆栄養学	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
給食経営管理論	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
総合演習	
管理栄養士総合演習Ⅰ	中村富予, 荒牧 礼子, 島田郁子
管理栄養士総合演習Ⅱ	全教員
臨地実習	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	中村富予
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	中村富予
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	中村富予, 荒牧 礼子, 島田郁子
関連科目	
生活経営学(生活経済学を 含む)	井本正人
家族関係論	<u>池添志乃</u> , <u>時長 美希</u> , <u>嶋岡暢希</u> , <u>升田茂章</u>
保育学(実習及び家庭看護 を含む)	(非)川崎育郎, <u>宮上多加子</u>
衣生活学	<u>團野哲也</u>
服飾造形実習Ⅰ	(非)川口順子
服飾造形実習Ⅱ	(非)川口順子
住居学(製図を含む)	<u>宇野浩三</u>
家庭機械・家庭電気	<u>團野哲也</u>
その他	
企業実習	学年担当教員
課題研究	
卒業研究	各専任教員

他学部教員・下線 非常勤・(非)

5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）課題番号：24650481	高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立	渡邊浩幸		2012～2014	総額 3,000 千円
科学研究費補助金（若手研究(B)）課題番号：24700840	加齢・生活習慣病のタンパク質アルギニンメチル化への影響とアルツハイマー病への役割	鈴木麻希子		2012～2014	総額 4,290 千円
学術研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：25750051	牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか	田中守		2013～2014	総額 4,030 千円
学術研究助成基金助成金（基盤研究(B)）課題番号：26281063	アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築	高木万隆	渡邊高志, 菊池豊, 田中守	2014～2016	総額 11,830 千円
厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）（H25-循環器等（生習）一般-003）	追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究	玉腰暁子	文部省がんコホート研究：JACC Study 班員（研究協力者）（和田安彦）	2013～2015	総額 11,700 千円
公益信託高知新聞・高知放送 生命（いのち）の基金	酵素分解法を用いた保形軟化食品のマニュアル構築に向けて	島田郁子	沼田聡, 田中守	2014	500 千円
高知県地域研究成果事業化支援事業	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	能勢晶	朴啓彰, 渡邊浩幸, 岡本佳乃	2014	総額 9,996 千円
高知県産学官連携産業創出研究推進事業	新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索	田中守	鈴木大進	2014	1,482 千円
高知県立大学地域教育研究センター地域連携事業	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化	渡邊浩幸	川村真美, 川北浩久, 金哲史, 渡邊高志	2014	200 千円
高知県立大学地域教育研究センター地域連携事業	嶺北産米粉を使った商品開発（おからッティ）	彼末富貴		2014	100 千円
高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	在宅死もしくは老衰死（自然死）の割合の地域差と医療体制や死生観との関連	和田安彦		2014	総額 380 千円
高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	国際理解につなげる多民族国家との幸福度比較	島田郁子	田中守, 沼田聡, 岡本威明	2014	400 千円
高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	卵白アレルギーに対する超高感度酵素免疫測定法の開発	沼田聡		2014	総額 400 千円

6. 研究成果の公表の状況

(1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行年
Matsunaga K, Tanabe K, Inoue H, Okuya S, Ohta Y, Akiyama M, Taguchi A, Kora Y, Okayama N, Yamada Y, Wada Y, Anemiya S, Sugihara S, Nakao Y, Oka Y, Tanizawa Y.	Wolfram Syndrome in the Japanese Population; Molecular Analysis of WFS1 Gene and Characterization of Clinical Features.	PLoS One	9, e106906	2014
K. Yoshinagaa, K. Sasaki, H. Watanabe, K. Nagao, Nao I. Bungo Shirouchi, T. Yanagita, T. Nagai, H. Mizobe, K. Kojima, F. Beppu, N. Gotoh	Differential effects of triacylglycerol positional isomers containing n-3 series highly unsaturated fatty acids on lipid metabolism in C57BL/6J mice.	<i>J. Nutr. Biochem</i>	26(1), 57-63	2015
F. Beppu, K. Konno, T. Kawamatsu, T. Nagai, K. Yoshinaga, H. Mizobe, K. Kojima, H. Watanabe, and N. Gotoh	Comparison on the catabolism rate of ¹³ C labeled palmitic acid binding at between alpha and beta position of triacylglycerol using expired gas from mouse.	<i>J. Lipid Sci. Technol</i>	117(5), 718-723	2015
Reiko Aramaki, Yoshiteru Akezaki, Mizuho Nonomura	The effect of lifestyle habit factors on visceral fat accumulation in working people.	<i>J. Mibyou System Association</i>	20(1), 1-7	2014
Kawakami Y, Hirano S, Kinoshita M, Otsuki A, Suzuki-Yamamoto T, Suzuki M, Kimoto M, Sasabe S, Fukushima M, Kishimoto K, Izumi T, Oga T, Narumiya S, Sugahara M, Miyano M, Yamamoto S, Takahashi Y.	Neutralization of leukotriene C ₄ and D ₄ activity by monoclonal and single-chain antibodies.	<i>Biochim Biophys Acta</i>	1840(6), 1625-1633	2014
Yumioka-Ito H, Misaki R, Yokoro M, Suzuki M, Yamashita H, Hiemori-Kondo M, Kimoto M, Kato K, Fujiyama K, Tsuji H.	Cloning of a cDNA encoding the Gly m Bd 28K precursor and its vacuole transport in tobacco BY2 suspension-cultured cells.	<i>J Nutr Sci Vitaminol</i>	60, 129-139	2014
P. Khaoian, H. Ogita, H. Watanabe, M. Nishioka, F. Kanosue, Hung Phuc Nguyen, H. Fukada and T. Masumoto	Effects of Taurine Supplementation to Low Fish Meal Practical Diet on Growth, Tissue Taurine Content and Taste of 1 Year Yellowtail <i>Seriola quinqueradiata</i> .	<i>Aquaculture Sci.</i>	62, 415-423	2014
Yoko Watanabe, Isao Saito, Ikuyo Henmi, Kana Yoshimura, Kotatsu Maruyama, Kanako Yamauchi, Tatsuhiro Matsuo, Tadahiro Kato, Takeshi Tanigawa, Taro Kishida and Yasuhiko Asada	Skipping Breakfast is Correlated with Obesity	<i>J Rural Med</i>	9(2), 51-58	2014
Yoshinobu Yoshimoto, Yukituna Ooyama, Mamoru Tanaka	Different cutoff values of 10-m walking speed simply classify walking independence in stroke patients with or without cognitive impairment	<i>The Journal of Physical Therapy Science</i>	In press	2015
廣内智子, 田中守, 島田郁子	震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響	日本病態栄養学会誌	17(2), 231-238	2014
廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男	東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化	日本災害食学会誌	Vol. 1, No1, 29-33	2014

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行年
松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 藤原政嘉, 日本栄養 士会	東日本大震災における栄養士の活動 と今後の取り組み	日本災害食 学会誌	Vol. 1, No1, 45- 48.	2014
吉本好延, 田中守, 神谷将人, 佐藤 圭	高齢者の転倒と外傷の発生状況に関 する知見の整理	四国公衆衛 生学会雑誌	60, 97- 102	2015
橋田誠一, 山本真弓, 沼田 聡	高感度ELISAは、こう開発する-基礎 と応用-	臨床化学	43, 121- 136	2014
石川麻衣, 池田光徳, 池添志乃, 荒 牧礼子, 首藤ひとみ, 塚原和香奈	地方自治体と高知県立大学との包括連携 事業に参加した教職員の感じる成果と課題	高知県立大 学紀要	64, 85-92	2015
川上佳久, 明崎禎輝, 荒牧礼子, 有光一樹, 笹村聡, 野村卓生	脳卒中片麻痺患者における更衣動作 自立に必要な下肢 Brunnstrom Recovery Stageの目標値.	高知リハビ リテーショ ン学院紀要	16, 9-12	2014
岡本威明, 岡部麻未, 田頭歩佳, 篠原一作, 島田郁子, 田中守	主観的幸福度の調査-12の生活環境 要因を指標として-	愛媛大学教 育学部紀要	61, 149- 159	2014
嶋田さおり, 西村栄恵, 若林良和, 逸見幾代	地域の特性を活かした食育の試みと その検証	松山東雲短 期大学研究 論集 第43		2015

(2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
渡邊浩幸	食べ物と健康 食品の加工 (太田英明ら 編)	159-162	南江堂	2015
渡邊浩幸	食べ物と健康 食品の科学 (太田英明ら 編)	132-134	南江堂	2015
中村富予, 高岸和子	臨床栄養学実習-フローチャートで学ぶ臨床 栄養管理-		建帛社	2014
中村富予, 石川秀樹	栄養補給法 (2章), 食道・胃・腸の病気 (4 章), 臨床栄養学-疾病編 第3版		化学同人	2014
沼田聡, 橋田誠一	食物アレルギーおよび抗体の高感度 ELISA 法	101-107	(株)シーエ ムシー出版	2015
本田佳子編, 逸見幾 代他	Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養 ケアマネジメント 第10版		医歯薬出版	2014
逸見幾代, 佐藤香苗	改訂 マスター栄養教育論 第1章 栄養 教育の概念		建帛社	2015
市丸雄平, 岡純 編, 逸見幾代他	「第1章栄養アセスメント・マネジメント」第8 章学童期		建帛社	2015

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関 ・発行所	発行年
赤松利恵, 石川みど り, 石田裕美, 加藤 昌彦, 狩野恵美子, 川久保清, 川島由起 子, 木戸康博, 合田 敏尚, 鈴木志保子, 伊達ちぐさ, 塚原丘 美, 内藤義彦, 弘津 公子, 藤岡由夫, 丸 山千寿子, 吉池信男, 和田政裕, 渡邊浩幸	管理栄養士国家試験出題基準 (ガイドライ ン) 改定検討会 報告書	1-31	厚生労働省	2015

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
鈴木麻希子	平成 25 年度 研究報告概要集 特別助成の部「卵アレルギー発症に鶏卵白中 L-PGDS が及ぼす影響とその作用機序の解明」	71-73	一般財団法人旗影会	2014
島田郁子, 沼田聡	あいうえお塩分表	54-55	平成 26 年度 高知県立大学健康長寿 センター活動報告書	2015
島田郁子	教育実践報告：食から見えるマレーシア	28-31	ふまにすむす第 26 号	2015
廣内智子	早朝ミッションについて	8	JDA-DAT 研修報告, 第 34 号栄養土佐はちきん	2014
松崎淳子, 三谷英子, 宮脇綾子, 彼末富貴, 寺嶋康正	座談会「皿鉢料理 よもやま話 (1)」	317-323	食生活研究 Vol. 34No. 6	2014
松崎淳子, 三谷英子, 宮脇綾子, 彼末富貴, 寺嶋康正	座談会「皿鉢料理 よもやま話 (2)」	13-20	食生活研究 Vol. 35No. 1	2014
松崎淳子, 彼末富貴他	平成 27 年度版ファミリー日誌	156-157, 260	全国農林統計協会連合会	2014
彼末富貴, 永野貴美子	うまいもんレシピ「赤ムロアジ」	12	(社福) 高知県社会福祉協議会 玉手箱 Vol. 92	2014
廣内智子, 和田安彦	健康栄養学部公開講座「食の安全と日本人」～ゼロリスク幻想(安心)からの脱却～	18-22	平成 26 年度 高知県立大学健康長寿 センター活動報告書	2015
鈴木麻希子	平成 26 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業「慢性腎臓病料理教室」	83-89	高知県立大学健康長寿センター	2014
水島直子	SP 養成講座	32-33	平成 26 年度 高知県立大学健康長寿 センター活動報告書	2015

7. 国内外学会等への参加

(1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Fumi Tanaka, Madoka Miyazaki and Hiroyuki, Watanabe	How can we improve eating rate for elderly? Application of a meat softener to elderly	The 2 nd Asian Food Safety and Security Association	Dong Nai University, Viet Nam	2014. 8. 15 ~17
Reiko Aramaki, Mizuho Nonomura	The effectiveness of nutrition education program	第5回 日中食育文化フォーラム	ハルビン	2014. 8. 17 ~20
Reiko Aramaki, Kazuo Oginuma	CHANGES IN EATING HABITS RESEARCHED USING A COOKERY BOOK TITLE SEARCH	6th A Asian Congress of Dietetics	Taipei	2014. 8. 21 ~24
Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi and Hiroyuki Watanabe	Simple foods for the elderly: Application of a meat softener to chicken eggs	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei, Taiwan	2014. 8. 21 ~24
Ikuko Shimada, Mako Shikiji, Riho Higashida, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata, Mitsuru Nanbu, Kazue Shimomoto and Shojiro Takahashi	Can students revitalize the rural area through rice project?	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei, Taiwan	2014. 8. 21 ~24
Mamoru Tanaka, Hana Kozai, Yoshinobu Yoshimoto, Ikuko Shimada, Tomoko Hirouchi, Ayuka Tagashira and Takeaki Okamoto	Sensitization and elicitation of an allergic reaction to lysozyme from hen egg white in mice	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei, Taiwan	2014. 8. 21 ~24
Tomoko Hirouchi, Ikuko Shimada, Mamoru Tanaka and Kazuo Oginuma	An analysis of meal images of victims after the great east Japan earthquake	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei, Taiwan	2014. 8. 21 ~24
T. Hirouchi, I. Shimada, M. Tanaka, K. Oginuma	Change from meal images of the victim just after the great east japan earthquake disaster	The 6th Asian Congress of Dietetics	Taiwan.	2014. 8. 21 ~24
Takeaki Okamoto, Junko Hirano, Ayuka Tagashira, Takuya Sugahara and Mamoru Tanaka	Anti-allergic effect of imidazole peptides <i>in vivo</i> and <i>in vitro</i>	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei	2014. 8. 21 ~24
Satoshi Numata, Asako Umehara, Hideki Katakami, Shinobu Inoue, Seiichi Hashida	Development of a novel sensitive enzyme immunoassay for human GAD antibody	The 6 th Asian Congress of Dietetics	Taipei	2014. 8. 21 ~24

(2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
岡本威明, 平野絢子, 田頭歩佳, 田中守	In vivo, in vitro 系におけるイミダゾールペプチドの抗アレルギー効果	日本家政学会 第 66 回大会	福岡	2014. 5. 23 ～25
田頭歩佳, 田中守, 岡本威明	ヒト好酸球の走化性と IL-8 レセプター発現に及ぼす不純物 PAA の影響	日本家政学会 第 66 回大会	福岡	2014. 5. 23 ～25
和田安彦, 宮部夏実, 永野三奈美, 西村和香	災害時に適用可能な節水型で洗浄効果の高い手洗い法 - 手洗いタンクの活用	第84回日本衛生学会	岡山市	2014. 5. 27
小築康弘, 川村真美, 中島有里, 奥原康英, 伊藤幸彦, 笹田怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸	植物ステロールおよびエルゴステロールのマウス大腸癌細胞増殖抑制効果	第68回日本栄養食糧学会	札幌市	2014. 5. 30 ～6. 1
森本亮祐, 大森由香子, 鈴木麻希子, 山本登志子, 山本沙也加, 野村奈央, 山下広美, 高橋吉孝, 木本眞順美	40S リボソームタンパク質サブユニット 2 (RPS2) はラット組織における主要なアルギニンメチル化タンパク質である	第68回日本栄養・食糧学会	札幌市	2014. 5. 30 ～6. 1
山本登志子, 津嘉山泉, 高藤美樹, 瀧内理沙子, 鈴木麻希子, 荒川俊哉, 川上祐生, 高橋吉孝	自然薯のプロスタグランジン E2 合成系抑制と皮膚がんモデルにおける抗腫瘍効果	第68回日本栄養・食糧学会	札幌市	2014. 5. 30 ～6. 1
渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男	高知県立大学を核とした食品生産管理高度化支援体制	第 12 回産学連携学会	諏訪	2014. 6. 25 ～27
島田郁子, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 倉尾美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸	真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響	第 63 回日本食品保蔵科学学会	長野	2014. 6. 28 ～30
保井智香子, 中村富子, 竹山育子, 多門隆子, 船越正康	健康教室参加者の人柄特性と教室参加による身体組成の変化に関する検討	第 61 回日本栄養改善学会	横浜	2014. 8. 20 ～22
逸見幾代, 西村栄恵, 嶋田さおり, 中村富子	青年成人期における食事バランスガイドを活用した食育にむけての一考察～5年間の食事内容の時系列分析	第 61 回日本栄養改善学会	横浜	2014. 8. 20 ～22
西村栄恵, 逸見幾代, 嶋田さおり, 土海一美	青年成人期にある若年者の食生活調査～食育手法を検討するために～第 5 報	第 61 回日本栄養改善学会	横浜	2014. 8. 20 ～22
嶋田さおり, 西村栄恵, 逸見幾代	児童の食習慣と学校給食との関連性の検討	第 61 回日本栄養改善学会	横浜	2014. 8. 20 ～22
鈴木麻希子, 中西志帆, 森本亮祐, 山下広美	卵白アレルギー L-PGDS の Cys60 が OVA 特異的 IgE 上昇作用に及ぼす影響	第 87 回日本生化学会大会	京都市	2014. 10. 15 ～18
楠瀬和佳奈, 渡邊慶子, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 野村眞由美, 田中守, 菅野尚, 深田順一	2 型糖尿病患者における体組成分析と食事摂取評価について	日本糖尿病学会中国四国地方会第 52 回総会	広島	2014. 10. 24 ～25
渡邊浩幸, 川村真美, 河野敏夫, 川北浩久	「銀不老豆」含有でんぷんの栄養特性	第 35 回日本肥満学会	宮崎	2014. 10. 24 ～25
渡邊浩幸, 小築康弘	高脂肪食誘導肥満モデルマウスへのケイ素水の投与と血清グルコース及び関連する代謝因子に及ぼす作用	第 21 回日本未病システム学会学術総会	大阪	2014. 11. 1 ～2

発表者	題目	学会名	場所	開催日
水島直子, 荒牧礼子, 渡邊慶子	挙児希望あるも糖尿病治療への意欲に乏しく食事療法指導に難渋した1症例	第21回日本末病システム学会	大阪	2014. 11. 1 ～2
荒牧礼子, 深川貴世, 野々村瑞穂	勤労者層を対象とした「食」診断の経年実施による栄養指導効果	第21回日本末病システム学会	大阪	2014. 11. 1 ～2
島田郁子, 須内瑠璃, 中島左知子, 橋爪悠里, 針尾薫, 藤本正洋, 沼田聡	給食経営管理実習における献立の年次推移と特徴について	第10回日本給食経営管理学会	京都	2014. 11. 29～30
沼田聡, 島田郁子	卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発	第10回日本給食経営管理学会	京都	2014. 11. 29～30
爲房恭子, 中村富予, 竹山育子, 杉浦和希, 遠妙美, 時岡奈穂子, 田貝泉	多職種協働の在宅ケアを実現するための学習会の実現	日本プライマリ・ケア連合学会第28回近畿地方会	大阪	2014. 11. 30
保井智香子, 中村富予, 竹山育子, 多門隆子, 船越正康	健康教室参加時の心理指標と身体活動量の変化に関する検討 - 内田クレペリン精神検査による精神健康度について -	第13回日本栄養改善学会近畿地方会	京都	2014. 12. 7
保井智香子, 福田典子, 高尾理樹夫, 山本雅亨, 川上由紀子, 山下絵美, 幸林友男, 中村富予	運動部所属の有無による中学生の身体組成と血中ヘモグロビン濃度に関する検討	第22回日本健康体力栄養学会	市川市	2015. 3. 14 ～15
笹沼聖輝, 田中守, 野口修平, 菅沼成文, 渡辺高志	TNF- α 産生抑制及び脱顆粒阻害活性に関する高知県産有用植物の評価研究	日本薬学会第135年会	神戸	2015. 3. 25 ～28
和田安彦, 伊帳田蘭, 石川奈美, 川口秋慕, 森和子, 渡邊英子	口腔内洗浄効果があると考えられる、食後にお茶や硬い食品を摂る習慣とその文化の継承	第85回日本衛生学会	和歌山市	2015. 3. 28
田中守, 渡邊慶子, 渡邊浩幸, 香西はな, 岡本威明	牛乳カゼイン由来ペプチドの抗アレルギー効果	第34回食事療法学会	仙台	2015. 3. 28 ～29
沼田聡, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 藤原沙貴, 田中守, 島田郁子	食肉軟化剤による鶏卵の軟化および高齢者の喫食率の検討	第34回食事療法学会	仙台	2015. 3. 28 ～29
渡邊慶子, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 吉松香絵, 楠瀬和佳菜, 安田春奈, 田中守, 森田荘二郎	がん治療時の食事摂取支援食「ぼっちり食」導入の評価	第34回食事療法学会	仙台	2015. 3. 28 ～29
楠瀬和佳奈, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 渡邊慶子, 野村真由美, 田中守, 菅野尚, 深田順一	2型糖尿病患者における食事摂取評価と体組成分析との関連性について	第34回食事療法学会	仙台	2015. 3. 28 ～29

8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
高知県産業振興推進部地産地消・外商課主催 食品加工生産管理高度化研修 特別講座 大量調理の衛生管理	春田正行 島田郁子	高知県, 高知県立大学地域教育センター	2014. 9. 26	高知県立大学池キャンパス	食品製造関係者等
高知大学 CST プログラム「食と生活環境 3」	渡邊浩幸	高知大学	2014. 10. 19	高知県立大学	高知大学
公開講座「食の安全と日本人」～ゼロリスク幻想（安心）からの脱却～	唐木英明（倉敷芸術科学大学 学長顧問、食の安全・安心財団 理事長、東京大学 名誉教授）	健康栄養学部, 健康長寿センター, （後援：全国栄養士養成施設協会）	2014. 11. 1	高新文化ホール	一般市民, 学生, 教職員, 行政関係者

9. 地域・学外の活動

(1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
介護食士 2 級養成講座「生活習慣病について」	村上尚	R K C 調理師学校	2014. 4. 28	R K C 調理師学校	
高知県食品衛生協会研修会講演	渡邊浩幸	高知県食品衛生協会	2014. 6. 18	高知市商工会館	高知県食品衛生協会会員
災害時の食について考えよう～ 来るべき南海トラフ巨大地震に備えて ～	田中守	愛媛大学教育学部	2014. 7. 12	愛媛大学	学生, 市民一般
介護予防のためのイキイキ食生活	荒牧礼子	土佐清水市	2014. 7. 16	土佐清水市 三崎市民センター	一般
高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」	彼末富貴	高知県	2014. 8. 2, 10. 4, 11. 2, 12. 6, 2. 7	高知市中央卸売市場	一般親子
平成 26 年度家庭科教員免許更新講習（家庭科）	鈴木麻希子, 和田安彦, 團野哲也, 宇野浩三	高知県教育委員会	2014. 8. 7	高知県立大学池キャンパス	中・高校家庭科教諭
にし阿波・野菜健康フェスタ講演	渡邊浩幸	徳島県三好市	2014. 8. 24	三好市池田総合体育館	一般
介護予防のためのイキイキ食生活	荒牧礼子	土佐清水市	2014. 9. 18	土佐清水市社会福祉センター	一般
スーパーグローバルハイスクール事業 課題研究	島田郁子	愛媛県立松山東高校	2014. 9. 18, 2015. 2. 12	愛媛大学教育学部	愛媛県立松山東高校生
高知県栄養士会生涯教育基本研修会「栄養素の消化と吸収（代謝）」	鈴木麻希子	高知県栄養士会	2014. 9. 21	総合あんしんセンター	栄養士, 管理栄養士等
高知県看護協会平成 26 年度糖尿病中期研修「食事療法支援のための知識と技術」	水島直子	公益社団法人高知県看護協会	2014. 9. 21	高知県看護協会	看護師

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業「食品加工学」	西岡道子	土佐フードビジネスクリエーター人材創出（土佐 FBC II）	2014. 9. 26	高知大学	一般
家庭的保育の研修講義	鈴木麻希子	高知県教育委員会	2014. 9. 27 ～28	高知県立大学池キャンパス	家庭的保育者（認可外保育施設の他、保育所、幼稚園に勤務する者を含む）
生涯教育講座「国民の健康の増進の総合的な推進」	荒牧礼子	高知県栄養士会	2014. 10. 4	高知県立大学	栄養士会会員
食生活講演会「栄養と健康」	荒牧礼子	愛知県田原町	2014. 11. 23	愛知県田原市役所	
災害と栄養	廣内智子	高知市立五台山小学校	2014. 12. 6	高知市立五台山小学校	
対象者(高血圧症の高齢者)の背景に応じた料理およびアドバイス	廣内智子	仁淀川町保健福祉課	2014. 12. 12	仁淀川町高齢者生活福祉センターなごみの里	仁淀川町ヘルパー
非常時に生きる「食」知識～身近なサバイバル術～	和田安彦	中国四国農政局高知地域センター主催 平成 26 年度「食育セミナー」	2014. 12. 14	高知市立自由民権記念館	一般市民、行政関係者、高校生
高知県栄養士会生涯教育実務研修会「栄養生理 栄養素と代謝」	鈴木麻希子	高知県栄養士会	2015. 2. 21	高知県立大学池キャンパス	栄養士、管理栄養士等
高知県栄養士会生涯学習教育研究会基本研修「栄養食事基準の作成」	島田郁子	高知県栄養士会	2014. 12. 21	高知県立大学	栄養士、管理栄養士等
高知県栄養士会生涯学習教育研究会基本研修「対象者の把握」	廣内智子	高知県栄養士会	2014. 12. 21	高知県立大学池キャンパス	栄養士、管理栄養士等
高知県栄養士会生涯学習教育研究会基本研修「保健機能食品の分類」	田中守	高知県栄養士会	2014. 12. 21	高知県立大学	栄養士、管理栄養士等
高知県栄養士会生涯学習教育研究会基本研修「実施献立（調理・盛付・配膳・食材料管理）、献立評価、食事管理の改善」	寺嶋康正, 沼田聡	高知県栄養士会	2014. 12. 21	高知県立大学	栄養士、管理栄養士等
高知県栄養士会生涯学習教育研究会基本研修「食品構成」	水島直子	高知県栄養士会	2014. 12. 21	高知県立大学	栄養士、管理栄養士等
栄養改善と食環境整備に関する研修会講演	渡邊浩幸	徳島県西部総合県民局保健福祉部三好保健所	2015. 1. 15	三好市保健所	三好市管理栄養士
ソーレまつり 2015 おしゃれな洋食をつくってみよう～親子でご飯づくり～	彼末富貴	NPO 法人ポレール	2015. 1. 24	ソーレ	一般親子

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
香川県研究教育部・勤労者支援部研修会「災害時の食生活・食事」	島田郁子	香川県栄養士会	2015. 2. 7	香川短期大学	香川県栄養士会会員
マレーシアサバ大学 食品科学・栄養学部「幸福度比較 マレーシアと日本人学生」「学生プロジェクトについて」	島田郁子	マレーシアサバ大学食品科学・栄養学部	2015. 3. 12	マレーシアサバ大学	サバ大学教員
マレーシアサバ大学 食品科学・栄養学部「Welcom to my research in Food Allergy」	田中守	マレーシアサバ大学食品科学・栄養学部	2015. 3. 12	マレーシアサバ大学	サバ大学教員

(2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
子育て応援団 すこやか2014	島田郁子, 沼田聡	RKC 高知放送	2014. 7. 26 ～27	高知ちばさんセンター
高知家 あったか家族フェア	島田郁子, 沼田聡	高知県・高知県少子化対策推進県民会議	2014. 11. 3	高知県立青少年センター
高知県立大学 平成 26 年食品生産管理高度化講座特別講座	渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡	高知県, 高知県立大学地域教育センター	2014 年度	高知県立大学
高知県産業振興推進部地産地消・外商課主催 食品加工生産管理高度化研修	島田郁子	高知県, 高知県立大学地域教育センター	2014 年度	高知県立大学池キャンパス
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2014. 7. 12 ～13	土佐市保健センター
健康長寿センター体験型セミナーin 津野町 「認知症についてどのくらいご存知ですか」	荒牧礼子, 中村富予	高知県立大学健康長寿センター	2014. 11. 9	津野町総合福祉センター
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2014. 12. 7	土佐市保健センター
高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業 第3回「慢性腎臓病料理教室」	森本智代, 楠瀬佳奈, 十萬敬子, 和田安彦, 鈴木麻希子, 田中守	高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業	2014. 11. 29	高知県立大学
高知あいうえお塩分表	島田郁子, 沼田聡, 楠瀬佳奈, 十萬敬子	高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会健康栄養部会	2015. 2～ 3月	高知県立大学
出前授業「体脂肪を燃やしてエネルギーを使おう」	村上尚	高知小津高校	2014. 6. 26	高知小津高校
上級学校研究「食物・栄養」	西岡道子	高知県立岡豊高等学校	2014. 10. 17	高知県立岡豊高等学校
出前授業「高知県立大学健康栄養学部」	鈴木麻希子	丸の内高校	2014. 12. 8	丸の内高校
出前授業「思春期、青年期の栄養」	鈴木麻希子	土佐女子高校	2015. 3. 13	土佐女子高校
模擬授業「栄養ってなんだろう？」	沼田聡	中村中学校	2014. 10. 7	高知県立大学
大学訪問「健康栄養学部について」	西岡道子	香川県立高松東高等学校	2015. 3. 25	高知県立大学

10. 国際交流委員会活動

荒牧礼子

2012年11月27日、マレーシア国立サバ大学において同大学と本学の国際交流協定覚書の署名式が双方の学長、代表者の出席のもと行われた。この協定書により2013年度は、7月～8月の2か月間サバ大学の学生を受け入れた。さらに2014年度は、2015年3月5日～3月16日まで健康栄養学部2回生の短期派遣を行った。

1. 活動方針

国際交流委員会では、以下の活動方針のもとで委員会活動を行った。

- 1) 留学生確保のための広報の充実、留学生寄宿舎等受け入れ環境整備に向けた検討
- 2) 留学生の生活相談や留学生との交流等を目的とした学内専用スペースの活用を図る。
- 3) 国際交流運営のノウハウの蓄積や教職員間・交流校間の連携を密にし、体制の強化を図る。
ワーキンググループの設置
- 4) 学生の国際交流に関する意識向上を図る。
- 5) 海外での事故等を想定した危機管理体制マニュアルの作成、公開。

2. 活動内容

- 1) 国際交流締結校との交流を進める：エルムズ大学、北京旅遊学院（中国）・文藻外語学院（台湾）との交換留学生募集要項を作成し、説明会を開催。応募した学生に対し面接を実施。
- 2) 私費留学生入試「学生募集」チラシ作成
- 3) イタリア・ベネツィア大学との相互交流
- 4) マレーシア国立サバ大学との相互交流（健康栄養学部）
- 5) 国際交流委員会 ホームページ改定
- 6) 海外での事故等を想定した危機管理体制について検討：危機管理マニュアルを作成
- 7) 留学生確保のための広報作成と日本語学校への発送。昨年度に引き続き、全学広報委員と連携し、留学生確保に向けたチラシ・ポスターを作成。新たに大学広報紙国際交流特集号（第1号）を発刊し、日本語学校送付。

3. 協定校との交換留学生（派遣・受入）

協定校	エルムズ大学		北京旅遊学院	文藻外語学院	ベネツィア大学	サバ大学
期間	短期(2週間) 2015.2.22～3.1	長期	長期 1年間	長期 1年間	短期	短期 2015.3.5～3.16
受入	—	—	2名	2名	10名	—
派遣	9名 (健康栄養学部2名)	2名	1名	1名	—	2名 (健康栄養学部)

4. 健康栄養学部との主な交流

- 1) イタリア・ベネツィア大学との相互交流期間中、日本食に関する授業を実施、健康栄養学部生8名とも交流をおこなった。

- 2) エルムズ大学短期派遣 9名のうち、健康栄養学部生 2名が参加。
 3) マレーシア国立サバ大学へ 3月 5日～3月 16日まで学部生 2名派遣、引率教員 1名。
 帰国後、平成 27年 4月 3日、健康栄養学部在学学生を対象に報告会を行った。

研修日程

日(曜)	研修内容	日(曜)	研修内容
5(木)	移動	11(水)	授業に出席
6(金)	挨拶・大学見学・州立博物館見学	12(木)	授業に出席
7(土)	交流・観光	13(金)	授業に出席・高知県についてプレゼン
8(日)	交流・観光	14(土)	交流
9(月)	授業に出席	15(日)	自由行動
10(火)	授業に出席	16(月)	移動



3月10日
 サバ大学の学生と一緒に
 「応用栄養学」の授業に
 参加。母乳と人工乳につ
 いての講義。
 学生が教授からの投げか
 けに手を挙げ回答してお
 り、授業に積極的に参加
 していることが印象的で
 した。



3月13日
 英語で本学と高知県について発表。
 質疑応答とも活発に行われました。



レストランで歓迎夕食会(民族舞踊も鑑賞)



休日はコタキナバル中心地の市場を見学

11. 国家試験対策委員会

中村富予, 廣内智子, 田中守

1. 主な活動内容

管理栄養士の資格取得のためのサポートとして、平成26年度は全国統一模擬試験を3回生および4回生を対象に年7回実施した。3回生では苦手分野の把握を目的に、4回生では得点率60%を目標に実施した。その他、外部講師による国家試験対策講座を年4回開催した。学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目・不得意科目の克服を目指した。

また、1月の学内国家試験対策講座では、各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組んだ。模擬試験終了後には、成績が伸び悩む学生(100点以下)を対象に面談を行い、今後の勉強方法についてアドバイスをを行った。その他、国家試験受験願書説明会等を開催し、合格までのサポートを行った。

2. 国家試験対策 (平成26年度 年間活動内容一覧)

実施日	内容	受講及び受験者数 (名)			
		3回生	4回生	外部	合計
4月11日(金)	国家試験対策の説明, 及び模擬試験の申込案内	40	41	0	81
5月9日(金)	合格発表に合わせて, 手続き関連の連絡	2013年度の卒業生			
6月14日(土)	RDC 特別講演会	38	23	5	66
6月28日(土)	全国統一模擬試験 (第1回 RDC)	40	37	3	80
7月12日(土)	日本医歯薬研修協会キックオフガイダンス	37	27	9	73
7月26日(土)	全国統一模擬試験 (第1回日本医歯薬)	0	34	2	36
9月27日(土)	全国統一模擬試験 (第2回日本医歯薬)	0	39	4	43
10月4日(土)	RDC 秋期基礎対策講座	6	14	4	24
11月8日(土)	全国統一模擬試験 (第2回 RDC)	40	40	5	85
11月29日(土)	全国統一模擬試験 (第3回日本医歯薬)	0	38	2	40
1月5日~30日	各科目担当教員による国家試験対策講座		41		41
1月6日(火)	国家試験受験願書説明会		41		41
1月10日(土)	全国統一模擬試験 (第3回 RDC)	40	41	5	86
1月24日(土)	全国統一模擬試験 (第4回日本医歯薬)	0	41	4	45
2月14日(木)	RDC 超直前国家試験対策講座	0	21	9	30

3. 第29回管理栄養士国家試験

実施日: 平成27年3月22日(日)

合格発表: 平成27年5月8日(金) 14時

受験者数: 41名

合格者数: 39名

合格率 : 95.1%

12. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

1. 活動内容

1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター(愛称:ワクワク Work!!)の相談員は、年次を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応じている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。さらに、求人実績のある企業や医療・福祉関係を中心に、先輩の有無・就職試験の傾向と対策などの情報を入手できる。またほぼ全員の卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動報告書があり、後輩学生の参考になっている。またワクワク Work!!主催の就職必勝講座やSPI 模擬試験など就職活動活性化のためのガイダンスが数多く実施されており、ガイダンスへの積極的な参加を呼びかけ就職活動の活性化を図っている。

平成 25 年度に引き続き、ハローワーク高知の“大卒就職ジョブサポーター”1 名が、毎週 2 回月曜日・水曜日の午後、池キャンパスのキャリアセンターに来て、学生の個別相談を受ける体制であり、就職活動の支援が強化されている。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がっている。

また平成 25 年度に引き続き、キャリアセンターによる健康栄養学部 3 回生に的を絞った就職ガイダンスが実施され、学部の適性に合った丁寧な就職ガイダンスが行われた。

2) 学部の取り組み

平成 20(2008)年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置している。就職担当教員は学部主催の就職セミナーを企画・開催し、学年担当教員・卒業研究指導教員・キャリア支援部会員と連携して就職を支援した。教員間で密に連絡を取り、就職活動の活性化を促し、個別に提出書類の添削・指導を行い、求人情報の提供などの支援を行った。ワクワク Work!!職員と 3・4 回生学年担当教員は、4 月末に担当学年学生の就活についての情報や学生の性格・近況などについて情報交換の話し合いを持ち、情報の共有に努めた。

またワクワク Work!!主催の就職ガイダンスへの積極的な参加を促した。本学部学生はワクワク Work!!主催の就職ガイダンスのうち 27 講座に参加した。以下にワクワク Work!!および学部が主催した就職支援企画への本学部学生の参加実績を示す。

平成 26 年度 ワクワク work!!主催・学部就職主催就職ガイダンス参加状況 (名)

月日	キャンパス	タイトル	対象	健康栄養
14/4/8	池	オリエンテーション	3 回生	40
			4 回生	25
14/4/14	永国寺	高知県教員採用試験説明会	4 回生	-
	池			7
14/4/21	永国寺	教員採用試験公開模試	2・3・4 回生	-
	池			9
14/5/14	池	ハローワーク登録会 in 池	4 回生	7
14/5/14	永国寺	岡山県教員採用試験説明会	4 回生	-
	池			2
14/5/17	池	公務員ガイダンス	全学年	2
14/5/19	永国寺	徳島県教員採用試験説明会	4 回生	-
14/5/24	永国寺	公務員ガイダンス	全学年	-
14/5/24		教員ガイダンス	全学年	2
14/5/28		《新》第 2 回ハローワーク登録会 in 池	4 回生	4

14/6/2	永国寺	アロー・ジャパン株式会社企業説明会	4 回生	-
14/6/6	池	健康栄養学部 3 回生就職ガイダンス	3 回生	38
14/6/9	永国寺	大切な一歩を踏み出すために (講演)	3 回生	-
14/6/16	永国寺	リクルートファッション&メイク講習会	2~4 回生	-
14/6/30	永国寺	ネットヨタ南国企業説明会	4 回生	-
14/6/30	池	リクルートファッション&メイク講習会	2~4 回生	21
14/7/7	永国寺	アニコム損害保険株式会社説明会	4 回生	-
14/7/14	池	ビスタワークス研究所講演会	2・3・4 回生	22
14/7/25		ワクワク Work!!超活用法	3 回生	-
14/7/23	永国寺	4 回生進路相談会①	4 回生	-
14/7/30		4 回生進路相談会②	4 回生	-
14/8/6	永国寺	4 回生進路相談会③	4 回生	-
14/8/13				4
14/8/14	池	教員採用 2 次審査 模擬授業・面接会	4 回生	2
14/8/20				-
14/8/20	永国寺	4 回生進路相談会④	4 回生	-
14/8/27				-
14/8/27	永国寺	4 回生進路相談会⑤	4 回生	-
14/10/6	永国寺	業界・企業研究の仕方	2・3 回生	-
14/10/11			1 回生	40
14/10/11	池	平成 26 年度第 1 回 健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～	2 回生	38
14/10/11			3 回生	37
14/10/11			4 回生	5
14/10/16	池	業界・企業研究の仕方	2・3 回生	42
14/10/20	永国寺	ジェイコム (株) 会社説明会	4 回生	-
14/10/27	池	R-CAP (適正検査) 受検会	2・3 回生	7
14/10/27	永国寺	R-CAP (適正検査) 受検会	2・3 回生	-
14/11/5	永国寺	第 2 回 4 回生進路相談会①	4 回生	-
14/11/7	永国寺	教えて先輩	全学年	-
14/11/10	永国寺	《新》第 1 回 就活カフェミーティング	1~3 回生	-
14/11/12	永国寺	第 2 回 4 回生進路相談会②	4 回生	-
14/11/17	永国寺	《新》第 2 回 就活カフェミーティング	1~3 回生	-
14/11/17	池	SPI 模擬試験 (マークシート版)	全学年	16
14/11/17	永国寺	SPI 模擬試験 (マークシート版)	全学年	-
14/11/19	永国寺	第 2 回 4 回生進路相談会③	4 回生	-
14/11/26	永国寺	第 2 回 4 回生進路相談会④	4 回生	-
14/12/1	永国寺	エントリーシート (履歴書) の書き方講座	3 回生	-
14/12/4	池	高知家庭裁判所 説明会 (仕事・業界説明)	1~3 回生	-
14/12/8	永国寺	《新》第 3 回 就活カフェミーティング	1~3 回生	-
14/12/8	池	エントリーシート (履歴書) の書き方講座	3 回生	25
14/12/15	永国寺	R-CAP 解説会&自己分析の仕方	2・3 回生	6
14/12/20				-
14/12/21	永国寺	就職必勝・実践 WIN 講座 in 永国寺	3 回生	-
15/1/19			1 回生	39
15/1/19	池	平成 26 年度第 2 回 健康栄養学部就職セミナー ～健栄 教えて!先輩～	2 回生	40
15/1/19			3 回生	37
15/1/19			4 回生	13
15/1/24				7
15/1/25	池	就職必勝・実践 WIN 講座 in 池	3 回生	7
15/1/26	永国寺	《新》四国財務局学内業務説明会	全学年	-
15/1/30	永国寺	Unicareer 登録説明会	3 回生	-
15/1/30	池	就業前ワンポイント講座～知っておきたい労働 基準法～	4 回生	7
15/2/2	永国寺	業界研究セミナー	1~3 回生	8
15/2/2	永国寺	《新》合同企業説明会のまわり方	3 回生	6
15/2/6	永国寺	就業前ワンポイント講座～知っておきたい労働 基準法～	4 回生	-
15/2/7	永国寺	3 大学合同就職セミナー2016	3 回生	11
15/2/8	高知市内	公務員試験模擬試験	全学年	5
15/2/9	池	実践☆履歴書ガイダンス (社福・健栄)	3 回生	29

15/2/23	池 永国寺	教員採用試験公開模試	1～3 回生	7 -
15/3/4	大阪	合同説明会バスツアー	3 回生	5
15/3/14	池	就職必勝・実践 WIN 講座 in 池 (医療系)	3 回生	13
15/3/15				6
15/3/16	永国寺	全労済説明会	3 回生	-
15/3/30	永国寺	(株)ササオカ	3 回生	-

【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成 20 年度より開催しており、平成 26 年度は 2 回開催した。学部学生を対象として社会で活躍中の卒業生 6 名を講師に招いて 10 月に、また内定が決まった 4 回生 10 名を講師に 1 月に企画・実施した。毎回全体に体験談を話してもらったのち、職種ごとに個別に直接在学生から質問に答えてもらう個別質問タイムを設けて学生の聞きたいことが質問しやすいように企画している。学部 1～3 回生 90%以上が参加し、参加率は非常に高かった。参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化になり、就活への不安を軽減するだけでなく、日々の授業での勉学の重要性の認識や国家試験勉強の動機付けにも繋がり、よい効果を与えていることが窺えた。下記にその詳細を示す。

●2014 年度第 1 回健康栄養学科就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2014 年 10 月 11 日(土)9:00～13:00

講師：本学部卒業生 6 名

菊元萌さん

(平成 25 年度卒業、(株)LEOC 管理栄養士)

山本尚さん

(平成 25 年度卒業、三重県鳥羽市立鳥羽東中学校 栄養教諭)

吉岡奈緒さん

(平成 21 年度卒業、社会福祉法人 健祥会ヘルス 管理栄養士)

矢野佳苗さん

(平成 21 年度卒業、(株)ロイヤルクイーン 料理教室責任者)

大橋直子さん

(平成 21 年度卒業、岡山県倉敷市立第三福田小学校 学校栄養職員)

乾優衣さん

(平成 21 年度卒業、高知県四万十市立市民病院 管理栄養士)



講師の卒業生に、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表してもらい、それぞれの職種について学生の理解が深められるように企画した。

出席率：1 回生 40 名(95%)、2 回生 38 名(93%)、3 回生 37 名(93%)、4 回生 5 名、教員 4 名、ワクワク職員 2 名、参加総数 126 名。

1～3 回生の参加率は非常に高く、質問も活発にあった。参加の感想として、先輩方のお話を聴いて、今の勉強が生かせる場がたくさんあることを知ることができた、今回もすごく勉強になった、今後もこの会の開催をやってほしい、などがあり好評であった。講師 6 名のうち 4 名は卒業 5 年目で、その間に病院管理栄養士から学校栄養職員へ、ドラッグストアから病院管理栄養士へと転職をしている卒業生もおり、体験談は学生に刺激になったことが窺がえた。



●2014 年度第 2 回健康栄養学部就職セミナー

～健栄 教えて！先輩～

2015 年 1 月 19 日(月)16：15～20：00

講師：4 回生就職内定者 10 名

伊帳田蘭さん(病院管理栄養士)

森田桃子さん(病院管理栄養士)

明神春花さん(行政管理栄養士)

石川奈美さん(行政管理栄養士)

猪口菜摘(委託給食会社管理栄養士)

中西志帆さん(社会福祉法人管理栄養士)

須内瑠璃さん(栄養教諭)

松崎美咲さん(学校栄養職員)

小橋愛弓さん(一般企業)

鍋島真依子さん(行政職地方公務員)



種々の職種の内定を勝ち取った 4 回生 10 名に、就活の経過や勉強法、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表してもらった。

出席率：1 回生 39 名(93%)、2 回生 40 名(98%)、3 回生 37 名(93%)、4 回生 13 名、教員 4 名、ワクワク work!!職員 3 名、参加総数 136 名。

1～3 回生の参加率は高く、質問も活発にあり盛会であった。参加の感想として、非常に良かったが 72%を占め、就活の時

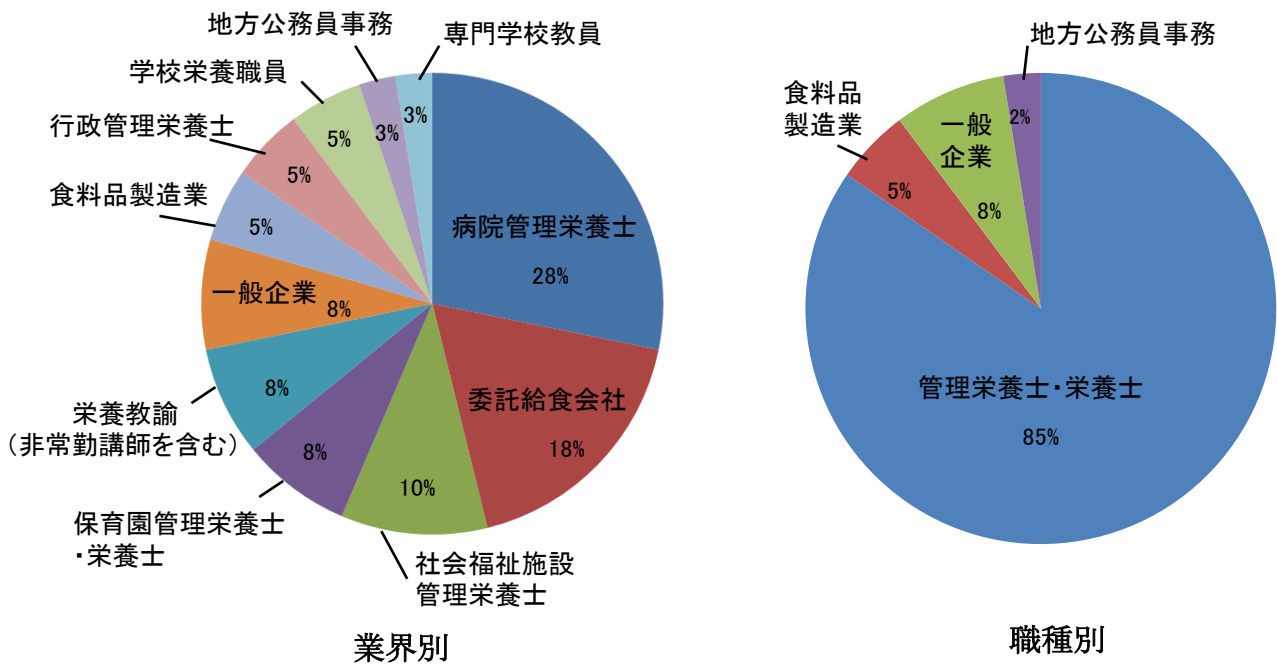
期は人それぞれで自分から進んで行動することがすごく大事だと思った、ただなんとなく学校に通い、毎日が過ぎていくのがとてももったいなく感じたなどがあった。

2. 成果

平成 26 年度の卒業生は 41 名であり、就職希望者 39 名全員が内定し、就職内定率は 100%であった。学部就職担当教員・ワクワク Work!!職員・ジョブサポーター・卒業研究担当教員・学年担当教員・学部キャリア支援部会員の連携した支援・個別指導が、内定を取ることに繋がった。卒業間近の 2 月、3 月に卒業生から卒業研究担当学部教員に求人情報があり、苦戦していた学生が内定をとることができた。またジョブサポーターによる全国ハローワークにおける大学新卒者への求人情報の迅速な提供などのきめ細かな個別支援も 100%の内定に繋がった。

平成 26 年度は男女共学になって初めての卒業生であった。今年度も就職内定率は 100%に維持することができ、社会への第一歩を踏み出させることが出来た。学部独自の就職セミナーを開催し 7 年目を迎え、参加学生の感想を見ると、就職活動の活性化、内定の獲得に効果を上げていると考えられる。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



3. 平成 27 年度の課題

学生が就職できるか、またどこに就職できるのかということは、学部の大きな使命の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員はキャリアセンター(ワクワク Work!!)と密に連絡を取り協力して、共学化して初めての平成 26 年度卒業生も就職内定率 100%を達成した。ワクワク Work!! 職員は、学生一人一人の性格に合ったきめ細かい就職支援をし、手厚くサポートしており、就職内定率 100%になったのもワクワク Work!! 職員の力によるところが大きいと感じている。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

平成 27 年度も就職希望者全員内定を維持するために、キャリアセンターの充実を望むとともに、健康栄養学部としてキャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・学年担当教員・卒業研究指導教員およびキャリア支援部会員の協力体制を充実させ、学生一人一人の個性に合った個別指導をしていくことが重要であると考えます。また学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを学生の要望を反映させて充実した形で実施する。

13. ファカルティ・デベロップメント (FD) 活動

水島直子

1. 活動目標

健康栄養学部では、教育能力の向上のみならず研究も含めた教員としての全般的な資質および能力の向上を学部FD活動の目標として掲げている。

2. 活動内容

1) 健康栄養学部FD活動

第1回 (7月17日) 『中国の生活及び保健医療の状況—栄養と食事を中心に—』

講師：高知県健康政策部 医師確保・育成支援課課長 家保 英隆 氏

参加人数：19名 (本学部13名、他学部4名、学生2名)

※全学FD委員会との共催

JICAが中国で実施している家庭保健プロジェクトのチーフアドバイザーとして北京に赴任されていた家保氏より、中国の健康状況や食品摂取状況とそれに関連する行政システムや栄養関係の政策について日本との比較を交えながらご講演頂いた。

第2回 (12月8日) 『上水と下水に関して地震時に想定されることと感染予防』

講師：和田 安彦 健康栄養学部長

参加人数：14名

公衆衛生学がご専門の和田学部長に、本学の上下水道の構造と仕組み、地震・津波で想定される課題についてご講演頂いた。

第3回 (2月18日) 『生命科学と研究倫理

—幹細胞を用いた研究の紹介とSTAP細胞問題—』

講師：高知大学医学部・環境医学 特任准教授 清澤 秀孔 氏

参加人数：14名 (本学部10名、他学部4名)

※全学FD委員との共催

幹細胞を用いた分子生物学的研究がご専門の清澤氏より、ご自身の研究内容と共に、研究者が常に意識すべき研究倫理についてご講演頂いた。

2) 全学FD活動

全学FD主催による研修会は3回、他との共催による研修会は6回(本学部との共催2回を含む)であった。本学部教員(専任教員総数14名)の参加状況は、参加実総人数13人(92.9%)、参加延総人数57人(4.07回参加/人)であった。

3. 活動成果

上述の活動目標を鑑みて各FD研修会の内容を決定した結果、各研修会では本学部を取り巻く状況を見据えた議論や意見交換が活発に行われた。全学FD活動も含めた本学部におけるFD活動は、各教員の全般的な資質および能力の向上に貢献したと考えられる。

14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

1. 慢性腎臓病（CKD）料理教室開催

和田安彦，鈴木麻希子，田中守

開催日時：平成 26 年 11 月 29 日土曜日 10：00～13：00

開催場所：高知県立大学 本部・健康栄養学部棟 1 階 調理学実習室

対 象：慢性腎臓病（CKD）治療中の患者さんと家族など

参加者数：22 人

1) 事業の概要

CKD の予防および重症化予防対策として、昨年度、作成された「慢性腎臓病（CKD）患者さんのための食事療法手引き」を利用して料理教室を開催した。CKD の手引きを用いて、治療食の重要性の講義を行った後、「秋の献立」の昼食および夕食の調理方法の説明を行った。その際、これまで CKD の手引きに対し、「料理ごとの栄養価を記載して欲しい」との要望があったことを受け、当日のレシピにはこれらを追加して配布した。各班に医療センターのスタッフ（森本栄養課長、楠瀬佳奈、十萬敬子）または本学のスタッフと学生アルバイトが入り、患者またはその家族などと共に調理した。朝食は、見本として準備し、一部、試食の提供を行った。

2) 活動成果

調理実践および調理上の工夫点と 1 食分の把握、家庭との味付けの比較等を通して、食事療法への理解を深めていただいた。また、料理教室の途中でも、「簡単に作れるのですね」などの感想をいただき、調理実践へのハードルが低くなっている様子が伺えた。アンケートの結果も、91%の方が、慢性腎臓病料理教室が「参考になった」、残り 9%の方が「まあまあ参考になった」と解答しており、概ね良好であった。

2. 高知あいうえお塩分表の作成・配布

島田郁子，沼田聡

作成期間：平成 27 年 1 月～平成 27 年 3 月 6 日

協議・作成場所：高知医療センター会議室・高知県立大学健康栄養学部棟等

作成枚数：1,000 枚

対 象：高知医療センターにて 500 部

高知県立大学で 500 部（主に県下市町村の健康管理部門）配布

本事業は高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業計画の一環として実施した。

高血圧症患者等の塩分コントロールが必要な方々にとって、減塩を行う際に食品や料理の塩分量を推測することは非常に困難である。そこで、本事業では減塩を行う人たちへ、食品や料理に含まれる塩分 1g に相当する量が簡単に分かるように、食品等の写真と名前の頭文字をあいうえお順（約 44 種類）に並べ、一覧表にした「高知あいうえお塩分表」を作成した。特徴として、「高知あいうえお塩分表」は、高知県内で良く食べられている食品や料理（伝統食等）を取り入れた。

この「高知あいうえお塩分表」は、塩分コントロールが必要な本人だけではなく、家族にも理解ができ、食事内容の改善につながることを期待される。

臨地実習に参加している学生の手をもち、高知医療センター栄養局十萬管理栄養士、楠瀬管理栄養士と大学教員で協議し、わかりやすい食材・料理を選択した。

撮影は健康栄養学部調理学担当教員の協力を得、食器の選択を行い、沼田助教によって行った。2月中に3回の撮影で、44食品を撮影し、編集した。3月6日に学生7名により、パウチ加工を行い完成させた。

完成後高知医療センターでは、外来患者への指導媒体等に活用され、健康栄養学部では、保健所等の健康管理部門に郵送、または直接の配布を行った。高知医療センターの患者さんからは、「食品に含まれる塩分が意外に多いことを知った」や、「写真入りで見やすい」、「家庭で貼って使います」等の声が聞かれ、好評である。保健所、高知県の健康管理部門からは、県民用にホームページなどでダウンロードを希望されるなど、今後は、大学ホームページ、健康関連行事での配布等、より県民に伝わる方策を検討したい。「高知あいうえお塩分表」は食材の塩分量が可視化されるため、より具体的に知識として身に付けることが可能となる。推測による塩分量と実際の塩分量の違いを知ることで、減塩食の必要性を知り、実践につなげてもらいたい。

【高知あいうえお塩分表作成の様子】



料理の撮影風景



塩分表のパウチ作業風景

高知あいうえお塩分表									
塩分約1gに相当する量を表しています									
わか	ら	か	ま	は	ち	た	な	の	を
味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁
...

高知あいうえお塩分表 (表)

生活習慣修正のポイント

- 減塩**: 減塩1日1食、減塩調味料は控えめに使う
- 野菜・果物**: 野菜・果物を積極的に摂る
- 適正体重の維持**: 適正体重を維持する
- 運動療法**: 心臓病のない高齢者の場合、運動療法は減塩と併用して行う
- 禁煙**: 禁煙

血圧の分類

診察室血圧に基づく血圧の分類

収縮血圧	160 mmHg以上	140 mmHg以上	130 mmHg以上	120 mmHg以上	110 mmHg以上	100 mmHg以上	90 mmHg以上	80 mmHg以上
拡張血圧	100 mmHg以上	90 mmHg以上	80 mmHg以上	70 mmHg以上	60 mmHg以上	50 mmHg以上	40 mmHg以上	30 mmHg以上

正常血圧: 収縮血圧 < 120 mmHg, 拡張血圧 < 80 mmHg

〜減塩のくふう〜薄味に慣れましょう!

汁物は1日1杯、汁少なくいただく

卓上調味料は控えめに使う

甘味さけ、おひたし、漬物、だしをかける

減塩5g → 減塩3g
 この1日に減塩を減らすことができます!

高知あいうえお塩分表 (裏)

15. 災害プロジェクト委員会

廣内智子, 川村真美

災害対策プロジェクト委員会は、全学的には、以下の4点を目的として実施されている。

- 1) 教育研究機関としての防災対策(県下大学との連携を含む)の立案
- 2) 高知医療センターとの連携
- 3) 地域住民の避難所として準備体制づくり
- 4) 専門家集団としての役割の遂行

本学部としては、災害対策プロジェクト委員会の活動の中で、高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練(11月)、池キャンパス高知県立大学避難訓練・消火放水訓練(12月)に参加した。合同災害訓練では主に非常食提供の役割を担った。8月3日オープンキャンパス時に台風が接近した際はその対応を行った。また災害対策プロジェクト委員会の中で、災害時の食糧や飲料水等の備蓄品の発注管理等を担当した。

1. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

日 時：平成26年11月22日(土) 8:00~12:15

場 所：高知県立大学池キャンパス 体育館内および体育館付近の駐輪場

対象者：高知県立大学教職員と学生、地域住民の計300名程度

内 容：①災害食の提供

②飲料水の提供

③乾燥野菜の提供：乾燥野菜を味噌汁へ入れて提供

④節水型タンクによる手洗い

⑤節水について説明と実地訓練

- ・大学の貯水槽等の節水方法について(災害対策本部にて学部長が説明)
- ・災害時におけるトイレの節水方法(実地訓練)

今後の災害時食事提供の参考にするため、訓練終了後にアンケートを実施し、集計結果を全学委員会に報告した。また学部内で反省会を行い、前年より改善した点や問題点などの意見を出し、それをまとめて全学委員会に報告した。

【訓練の様子】



非常食配布



乾燥野菜を入れ、各自で非常食を作る



コンロカートでお湯を沸かしている



節水タンクによる手洗い

2. 池キャンパス高知県立大学避難訓練

日 時：平成 26 年 12 月 3 日（水） 11：40～12：30

場 所：高知県立大学池キャンパス

対象者：高知県立大学教職員と学生

内 容：南海トラフ地震および津波を想定した避難訓練を行った。事前に学生に訓練情報を知らせ、なるべく多くの学生が参加できるようにした。学生がどのように非難し身を守るのか体験させ、避難に関する課題を抽出することを目的として実施した。訓練終了後にアンケートを実施し、集計結果とみつけた問題点などを全学委員会に報告した。



地震があったらすぐに机の下にもぐります



災害対策本部は情報収集に当たる

3. 池キャンパス消火訓練・放水訓練

日 次：平成 26 年 12 月 3 日（水） 14：30～15：20

場 所：高知県立大学池キャンパス 共用棟前広場

対象者：高知県立大学教職員と学生

内 容：消防署員の指導の下、訓練用消火器を使って訓練を行い、消火栓での放水訓練を行った。訓練終了後に、消防署員より講評があった。

4. オープンキャンパス時の台風に対応

日 時：平成 26 年 8 月 3 日（日） 10：00～11：00

場 所：高知県立大学池キャンパス

対象者：来場者、高知県立大学教職員と学生

内 容：オープンキャンパス当日、台風が高知市に接近し、高知市に避難指示が発令されたためオープンキャンパスは開催途中で中止となった。来場者を帰宅させたのち、大学より近い地点で増水があったため、オープンキャンパスに協力するため参加していた学生を帰宅させる手段・方法を災害対策プロジェクト委員会が検討しその指示に従って学生・教員は無事帰宅した。

16. 健康栄養学部リカレント講座

和田安彦, 廣内智子

公開講座：「食の安全と日本人」～ゼロリスク幻想（安心）からの脱却～

開催日時：平成 26 年 11 月 1 日 土曜日 14:00 ～ 16:30

開催場所：高新文化ホール

講師：唐木英明 氏：倉敷芸術科学大学 学長顧問

公益財団法人 食の安全・安心財団 理事長

東京大学 名誉教授

対象：一般市民、学生、教職員、行政関係の方々

参加者数：114 人 一般：45 名（教職員 10 名を含む）

学生：69 名（1 回生 5 名、2 回生 36 名、3 回生 24 名、4 回生 4 名）

1. 事業概要

日本人は安全管理に関して数々の失敗をしてきた、（例として、水俣病発生後の対策の遅れによる被害拡大の事例や病原性大腸菌 0-157 による集団食中毒後、学校給食では生野菜提供が原則禁止とされてしまったこと等）、その原因は疫学データに基づいてリスクを定量的に捉えるのが苦手であるためではないか、一般市民もあり得ない「絶対安全」を求める、その結果行政側は極端な規制を行う、食の提供側も絶対安全と言う、一般市民はそれらを鵜呑みにして思考停止し「安心」してしまう。そうではなく一般市民も科学的根拠のあるデータを読み込み主体的にリスクと向き合う姿勢こそが大切である。本企画は、安全に関する消費者教育に携わってこられた唐木英明氏を招いて、一般市民向けに講演いただき、リスクに向き合うとはどういう事か、また、食の安全に関する課題と解決策をお示し頂く企画であった。

2. 活動成果

講演では、農薬や添加物などの化学物質に対する誤解などについて、残留農薬や食品添加物、遺伝子組み換え食品など、消費者が抱く食への不安やリスク認知の解明などについてスクリーンと配付資料を用いながらわかりやすくお話頂き、参加者の皆さんは、普段なかなか聞く機会のない貴重なお話を熱心に聞き入っていた。講演終了後の 20-30 分ほど活発な質疑応答が交わされ、複数の大学教員（当学以外の教授 2 名含む）からも専門性の高い質問が出された。また、健康栄養学部 1 - 3 回生の学生には感想文のレポートを課し、当日参加できなかった学生にはその後 DVD 視聴の機会を複数回設けた。

アンケートには、「大変参考になった」「分かりやすい講演でした」「興味深い内容でした」と多くの方々から高い評価を得た。特に一般参加者からの評価が高かった。また、意見・感想として、「食品の安全には科学的知見を持った考え方が必要であり、マスメディアから流れる食に関する情報に流されず、その情報が正しいか見極める事が大切だと感じました」また、「身の回りの膨大な情報が本当に正しいのか、自分で判断する力を養う重要性を感じました」など、聴講された方々は食の安全に対する関心が深まった様子であった。



17. 委員会一覧

委員会名	担当者	委員会名	担当者	
教育研究審議会	和田安彦	国際交流委員会	荒牧礼子	
部局長会議	和田安彦	健康管理センター運営委員会	島田郁子	
地域教育研究センター (AERU)		広報専門委員会	彼末富貴	
地域教育研究センター一部会長会議	渡邊浩幸(産官学研究部会長)	総合情報センター運営委員会	中村富予	
		図書部会	中村富予	
共通教育部会	鈴木麻希子	情報処理部会	中村富予	
教職課程専門委員会	逸見幾代(栄養), 鈴木麻希子(家庭)	人権委員会	村上尚	
		自己点検・評価運営委員会	和田安彦	
生涯学習部会	廣内智子	FD委員会	水島直子	
キャリア支援部会	西岡道子	紀要編集委員会	沼田聡	
産官学研究部会	渡邊浩幸(産官学研究部会長)	災害対策プロジェクト委員	廣内智子, 川村真美	
		動物実験審査委員	和田安彦, 渡邊浩幸, 村上尚	
地域課題研究部会	渡邊浩幸			
教務委員会	村上尚	学年担当教員	1回生	鈴木麻希子, 田中守
健康長寿センター運営委員会	中村富予, 荒牧礼子		2回生	中村富予, 水島直子
			3回生	荒牧礼子, 川村真美
学生委員会	西岡道子		4回生	村上尚, 彼末富貴
学部	学部運営会議	和田安彦, 渡邊浩幸, 村上尚, 中村富予		
	カリキュラム検討委員会	和田安彦, 渡邊浩幸, 村上尚, 中村富予, 鈴木麻希子		
	研究倫理審査専門委員会	荒牧礼子, 中村富予, 村上尚, 渡邊浩幸		
	国家試験対策委員会	中村富予, 廣内智子, 田中守		
	国際交流ワーキング	荒牧礼子, 島田郁子, 渡邊浩幸, 和田安彦, 中村富予, 村上尚		
	就職支援	渡邊浩幸, 川村真美		
	学部報	西岡道子, 彼末富貴		
	広報	彼末富貴		
	FD	水島直子		
	医療センター連携委員	廣内智子		
臨地実習委員会	中村富予, 荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子, 水島直子, 沼田聡			

18. 入試状況の概要(2015年度)

() 内：男子

区分		募集 人員 A(名)	志願者数 B(名)		受験者数 C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)
			全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内	B/A	C/D
推 薦	一般 県内	10	21	21	21	21	10	10	10	10	2.1	2.1
	一般 全国	5	32 (3)	0	32 (3)	0	5 (2)	0	5 (2)	0	6.4	6.4
	合計	15	53 (3)	21	53 (3)	21	15 (2)	10	15 (2)	10	3.5	3.5
個 別	前期	25	77 (6)	12 (1)	74 (6)	11 (1)	29 (2)	5	27 (2)	4	3.1	2.6
社会人		若干名	1	1	1	1	1	1	1	1	—	1.0
私費外国 人留学生		若干名	2		1		0		0		—	—
合計		40	133 (9)	34 (1)	129 (9)	33 (1)	45 (4)	16	43 (4)	15	3.3	2.9

Ⅱ．学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要（2014年度）
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況（2014年度）
7. 学生の海外研修等（2014年度）
8. 2014年度 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県			1		1
栃木県					
群馬県			1		1
埼玉県		1			1
千葉県					
東京都	1		1		2
神奈川県					
新潟県					
富山県	1	2	1		4
石川県	1				1
福井県		1			1
山梨県					
長野県					
岐阜県		1	1		2
静岡県		1		2	3
愛知県	4		2		6
三重県				1	1
滋賀県		1	1	2	4
京都府	1			1	2
大阪府			1		1
兵庫県	4	7	3	1	15
奈良県					
和歌山県	2		1	1	4
鳥取県		1	1		2
島根県			1	2	3
岡山県	2				2
広島県	2	1	1	3	7
山口県			1	1	2
徳島県	3	2	2		7
香川県	2	2	1	1	6
愛媛県	2	1	2	3	8
高知県	16	15	17	19	67
福岡県					
佐賀県				2	2
長崎県	1	1			2
熊本県			1		1
大分県		2			2
宮崎県		1		2	3
鹿児島県					
沖縄県		1	1		2
合計	42	41	41	41	165

2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生(名)
地域公衆栄養学 臨地実習	高知市保健所	2014. 9. 1～9. 5	6
	安芸福祉保健所	2014. 9. 1～9. 5	7
	中央東福祉保健所	2014. 9. 1～9. 5	7
	幡多福祉保健所	2014. 9. 8～9. 12	6
	須崎福祉保健所	2014. 9. 8～9. 12	7
	中央西福祉保健所	2014. 9. 8～9. 12	7
給食経営管理臨地実習	高知医療センター	2014. 9. 13～9. 20	20
		2014. 9. 24～9. 30	20
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	高知医療センター	2014. 8. 18～8. 22	1
		2015. 2. 16～2. 20	20
		2015. 2. 16, 3. 2～3. 5	20
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	高知医療センター	2014. 8. 25～8. 29	1
		2014. 2. 23～2. 27	20
		2014. 3. 6～3. 12	20
地域実践栄養学 臨地実習	高知大学医学部附属病院	2014. 5. 12～5. 16	1
	もみのき病院	2014. 5. 19～5. 23	2
	細木病院	2014. 5. 19～5. 23	2
	近森病院	2014. 5. 26～5. 30	1
	とさの里（介護施設）	2014. 5. 19～5. 23	1
	潮江第二双葉園（保育園）	2014. 5. 19～5. 23	1
		2014. 5. 26～5. 30	2
	南街保育園	2014. 5. 19～5. 23	1
	高知聖園ベビーホーム（乳児院）	2014. 5. 26～5. 30	1
潮江双葉園	2014. 5. 19～5. 23	1	
学校栄養教育実習	高知市立泉野小学校	2014. 6. 2～6. 13	1
	高知市立潮江東小学校	2014. 6. 2～6. 13	1
	高知市立初月小学校	2014. 6. 2～6. 13	2
	南国市立岡豊小学校	2014. 6. 9～6. 20	2
	南国市立十市小学校	2014. 6. 9～6. 20	2
	南国市立御免野田小学校	2014. 6. 9～6. 20	1
介護等体験	高知県立盲学校	2014. 6. 3～6. 4	1
	高知県立高知ろう学校	2014. 7. 4～7. 5	1
教育実習（家庭科）	高知県立中村高校	2014. 5. 26～6. 13	1
	静岡県立富士高校	2014. 6. 2～6. 20	1

3. 資格取得状況の概要 (2014 年度)

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許	
		栄養教諭一種	家庭 中学校教諭一種・高等学校教諭一種
41	41	9	2

4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)

受験年度	2014 年度	2013 年度	2012 年度
国家試験回数	第 29 回	第 28 回	第 27 回
受験者数 (名)	41	38	21
合格者数 (名)	39	37	16
合格率	95.1%	97.4%	76.2%

5. 就職状況の概要

(単位：名)

		2014 年度
管理栄養士・栄養士		27
教員	栄養教諭	3
	家庭科	0
学校栄養職員		2
専門学校教員		1
製造・販売・営業職		2
一般企業		3
地方公務員事務		1
就職合計		39
進学等		0
その他		2
卒業生数		41

6. インターンシップの実施状況 (2014 年度)

(単位：名)

1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
0	7	0	0

7. 学生の海外研修等 (2014 年度)

協定校・国名	交流日	交換人数	
エルムズ大学	アメリカ合衆国	2015. 2. 22～3. 11	1 回生 2 名
サバ大学	マレーシア	2015. 3. 5～3. 16	2 回生 2 名

8. 2014年度 卒業研究題目一覧

1. 魚の保存温度とヒスタミン生成量の違い (伊勢田実幸 病態学研究室)
2. お酒の殺菌効果について (岡崎早矢加・佐藤留美 病態学研究室)
3. まな板の洗浄による生菌数とATPふき取り検査との比較 (景山伝美 病態学研究室)
4. 梅干しにおける抗カビ・抗菌効果について (中谷美咲 病態学研究室)
5. スポーツ栄養士による栄養介入について (猪口菜摘 栄養教育論研究室)
6. 栄養コーチング技法による生活習慣行動変容の試み
(角谷真紀子・西野佐和子 栄養教育論研究室)
7. 日本食品標準成分表の変遷について (岡崎小夏 栄養教育論研究室)
8. 加熱調理によるオクラの葉酸含量 (岡崎愛 調理学研究室)
9. 加熱調理によるピーマンの葉酸含量 (石崎由恵 調理学研究室)
10. 保存方法の違いによる枝豆の葉酸含量 (清遠佳澄 調理学研究室)
11. 加熱調理によるいわしつみれのビタミンB₁₂含量 (矢野博子 調理学研究室)
12. 加熱調理法の違いによる鯖味噌煮のビタミンB₁₂含量 (金藤麻衣子 調理学研究室)
13. 卵白アレルギーL-PGDSの消化性 (谷口葵 栄養学研究室)
14. 卵白アレルギーL-PGDSによる経口免疫寛容抑制作用機序の解明 (中西志帆 栄養学研究室)
15. マウス大脳皮質に及ぼす加齢と高脂肪食の影響 (篠岡沙季 栄養学研究室)
16. 太陽光(紫外線・赤外線)の防御に関する学校教育の現状 (石川奈美 健康生態学研究室)
17. 食後にお茶や硬いものを摂る習慣による口腔内洗浄効果およびその文化の継承
(伊帳田蘭 健康生態学研究室)
18. 大学生のカフェインを含む食品の摂取状況と意識 (渡邊英子 健康生態学研究室)
19. 無医地区における伝統的生態学的知識 (森和子 健康生態学研究室)
20. 無医地区における看取りと死生観について (川口秋慕 健康生態学研究室)
21. 給食経営管理実習における献立の特徴と分析 ―栄養管理について―
(須内瑠璃・針尾薫 給食経営管理研究室)
22. 給食経営管理実習における献立の特徴と分析 ―食材使用について―
(中島左知子・橋爪悠里 給食経営管理研究室)
23. 給食経営管理実習におけるリスクマネジメントレポートの分析
(藤本正洋 給食経営管理研究室)
24. 抹茶摂取における血糖値上昇抑制作用の研究 (篠原里菜 臨床栄養学研究室)
25. ブログからみた現在のダイエット方法の実態 (明神春花 臨床栄養学研究室)
26. 大腸腫瘍発生と飲み物との関連 (田上詩野 臨床栄養学研究室)
27. わが国の自殺率と健康・精神福祉要因および高齢者人口・世帯との関連についての検討
(原尚子 臨床栄養学研究室)
28. 食物アレルギーの増加と原因食品摂取量の関連性の検討 (溝渕智美 臨床栄養学研究室)
29. 栄養成分表示を用いた情報提供による食事の変化 (鈴木真弓・東田里穂 公衆栄養学研究室)
30. 個人間における間食・菓子の認識の違いと食事調査への影響について
(小橋愛弓・森玲菜 公衆栄養学研究室)
31. 配糖体型アスコルビン酸のマウス大腸癌に及ぼす効果 (森田桃子 食品科学研究室)
32. 焙焼食品の硬さに影響を及ぼす食材について (木谷睦美 食品科学研究室)
33. 担子菌による大豆発酵物の機能性評価 (鍋島真依子 食品科学研究室)
34. 東南アジアに分布する植物の機能性評価とデータベース構築 (森本愛未 食品科学研究室)
35. カンナデンプンの難消化性デンプンとしての機能性 (松崎美咲 食品科学研究室)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2015. 3. 3	4回生 2回生	東田里穂 式地麻湖, 山中麻衣, 杉沢江里子, 坂本和香, 上原志緒梨, 川本茜, 木下公美子, 田原真生, 藤山直子, 西美佳, 波田みのり, 三木惇可	「COME☆RISH」は中土佐町大野見地区で作られるおのおのみエコ米をツールとして、中土佐町の地域活性化を目指して活動を行っている。管理栄養士養成課程在籍という専門性を活かし、「ごはんに合うレシピ集」を作成、定食屋の開催など、地域の活性化に寄与した。さらに、「公立大学の力を活かした地域活性化研究会」においても高い評価を得た(総務省ホームページ)。
全日本大学準硬式野球連盟「優良学生奨励賞」 2015. 1. 22	3回生	鮫島僚佑	学業と部活動の両面で優秀な成績を収めた学生に送られるもので、学業成績はもとより、高知県立大学に準硬式野球部を立ち上げ、初代キャプテンとなり、さらに四国準硬式野球選抜に選ばれたことが評価された。
子育て応援団すこやかボランティア活動の感謝状 2014. 8. 8	4回生	須内瑠璃 (代表者として)	株式会社高知放送より、同社が2005年より主催する「子育て応援団すこやか」が、平成26年で10周年を迎えた。2007年より健康栄養学部の教員と学生が参加し、食育キッチン・キッズランドでの食育活動を行っている。本学のこれまでの活動に、感謝状が授与された。
(社) 全国栄養士養成施設協会 会長賞 2015. 3. 19	4回生	須内瑠璃	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2013. 7～2014. 3	学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」	島田郁子, 田中守, 沼田聡	レシピ集作成、地域との交流等を通じ中土佐町大野見地区の地域活性化を目指す。
2014. 7. 26～27	子育て応援団～すこやか2014～	島田郁子, 沼田聡	株式会社高知広告センター主催。RKC高知放送では、こどもたちの「すこやかな成長」をテーマに、年間を通じた子育て支援を行っている。年に一度のプログラムの一部として、子どもたちへのおやつづくりと調理教室を担当した。
2014. 8. 22～24	高知県小児糖尿病サマーキャンプ		子供たちが集団生活を通じて自己管理に必要な糖尿病の知識・技術を身につけるキャンプでの補助を通して、管理栄養士の役割、他職種との連携を勉強する。
2014. 8. 25～29	高知県津野町「サマースクール」		津野町教育委員会主催。夏休みの小中学生に勉強を教えるボランティア合宿に4回生2名参加。
2014. 11. 3	高知家あったか家族フェア	島田郁子, 沼田聡	高知県主催。高知県が中心となり、こうち少子化対策県民運動を進めている。本学は、この運動を支援するために、高知家あったか家族フェアでのプログラムを担当した。健康栄養学部学生による料理教室と食育支援を行った。
2014. 11. 20～22	ものづくり総合技術展	渡邊浩幸, 川村真美, 彼末富貴	高知県・公益財団法人高知県産業振興センター(ものづくり地産地消センター)主催。健康栄養学部こめっ娘。によるおからッティの試食を実施。
2014. 12. 23	チャリティーケーキの販売		新潟中越地震後毎年、中心商店街のクリスマスイベントで手作りお菓子を販売、その売り上げを募金している。
2014年5回	高知県水産物PRキャンペーン「お魚料理教室」	彼末富貴	魚料理の普及活動として、子供が楽しく作れるさかなのメニュー作りと料理教室を担当した。

Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦
2. 中村 富予
3. 村上 尚
4. 渡邊 浩幸
5. 荒牧 礼子
6. 鈴木 麻希子
7. 西岡 道子
8. 島田 郁子
9. 廣内 智子
10. 田中 守
11. 沼田 聡
12. 水島 直子
13. 彼末 富貴
14. 川村 真美
15. 逸見 幾代

学部長 教授 和田 安彦 (WADA Yasuhiko)

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・健康情報論実習
- ・公衆衛生学
- ・地域健康論
- ・環境衛生学実習
- ・介護論 (オムニバス)
- ・食と介護 (実習) (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・疫学 (看護学科)

【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・栄養・生活特論 I
- ・栄養・生活特論 II
- ・栄養・生活統計論

【大学院・人間生活学研究科 (博士後期課程)】

- ・健康動態学
- ・栄養・生活学特別研究 I

II. 研究活動

【論文】

1. Matsunaga K, Tanabe K, Inoue H, Okuya S, Ohta Y, Akiyama M, Taguchi A, Kora Y, Okayama N, Yamada Y, Wada Y, Amemiya S, Sugihara S, Nakao Y, Oka Y, Tanizawa Y. (2014) Wolfram Syndrome in the Japanese Population; Molecular Analysis of WFS1 Gene and Characterization of Clinical Features. PLoS One, 9, e106906.

【学会発表】

1. 和田安彦, 宮部夏実, 永野三奈美, 西村和香. 災害時に適用可能な節水型で洗浄効果の高い手洗い法 - 手洗いタンクの活用. 第84回日本衛生学会, 岡山市 (2014. 5. 27)
2. 和田安彦, 伊帳田蘭, 石川奈美, 川口秋慕, 森和子, 渡邊英子. 口腔内洗浄効果があると考えられる、食後にお茶や硬い食品を摂る習慣とその文化の継承. 第85回日本衛生学会, 和歌山市 (2015. 3. 28)

III. 委員会活動

1. 学部長
2. 部局長会議 委員
3. 教育研究審議会 委員
4. 大学院 学務委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会評議員
2. 日本衛生学会英文誌 Environmental Health and Preventive Medicine 編集委員
3. 日本職業・災害医学会評議員
4. 日本産業衛生学会四国地方会監事
5. 高知出版学術賞審査委員会審査委員

6. 高知県食の安全・安心推進審議会委員

【講演・講習会】

1. 和田安彦：非常時に生きる「食」知識 ～ 身近なサバイバル術 ～. 中国四国農政局高知地域センター主催 平成 26 年度「食育セミナー」, 高知市立自由民権記念館, 2014 年 12 月 14 日.

V. 研究助成

【学外】

1. 厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）：追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究（H25-循環器等（生習）-一般-003）（代表：玉腰暁子）（研究協力者）（文部省がんコホート研究：JACC Study 班員）

【学内】

1. 平成 26 年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業：在宅死もしくは老衰死（自然死）の割合の地域差と医療体制や死生観との関連（和田安彦）380 千円

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学Ⅰ
- ・臨床栄養学Ⅲ
- ・臨床栄養学Ⅱ
- ・臨床実践栄養学
- ・臨床栄養学実習Ⅰ
- ・臨床栄養学実習Ⅱ
- ・臨床栄養学臨地実習Ⅰ
- ・臨床栄養学実習Ⅱ
- ・管理栄養総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・管理栄養総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

【看護学部】

- ・栄養学（オムニバス）

【大学院 人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・研究方法論Ⅰ 課題研究演習

【大学院 人間生活学研究科（博士後期課程）】

- ・人間栄養学

II. 研究活動

【著書】

1. 中村富予, 高岸和子編著: 臨床栄養学実習—フローチャートで学ぶ臨床栄養管理— (2014), 建帛社.
2. 中村富予, 石川秀樹共著: 栄養補給法 (2章), 食道・胃・腸の病気 (4章), 臨床栄養学—疾病編 第3版 (2014), 化学同人.

【学会発表】

1. 保井智香子, 中村富予, 竹山育子, 多門隆子, 船越正康: 健康教室参加者の人柄特性と教室参加による身体組成の変化に関する検討, 第61回日本栄養改善学会, 横浜, 2014.
2. 逸見幾代, 西村栄恵, 嶋田さおり, 中村富予: 青年成人期における食事バランスガイドを活用した食育にむけての一考察～5年間の食事内容の時系列分析, 第61回日本栄養改善学会, 横浜, 2014.
3. 爲房恭子, 中村富予, 竹山育子, 杉浦和希, 達妙美, 時岡奈穂子, 田貝泉: 多職種協働の在宅ケアを実現するための学習会の実現, 日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会, 大阪, 2014.
4. 保井智香子, 中村富予, 竹山育子, 多門隆子, 船越正康: 健康教室参加時の心理指標と身体活動量の変化に関する検討 - 内田クレペリン精神検査による精神健康度について -, 第13回日本栄養改善学会近畿地方会, 京都, 2014.
5. 保井智香子, 福田典子, 高尾理樹夫, 山本雅亨, 川上由紀子, 山下絵美, 幸林友男, 中村富予: 運動部所属の有無による中学生の身体組成と血中ヘモグロビン濃度に関する検討, 健康体力栄養学会, 和洋女子大学, 2015.

Ⅲ. 委員会活動

1. 高知医療センター・高知県立大学S P研究会委員
2. 大学院人間生活学研究科（博士前期課程）入試実施委員
3. 大学院人間生活学研究科 総合情報センター運営委員
4. 健康長寿センター運営委員
5. 総合情報センター運営委員
6. 情報処理部会委員
7. 学部運営委員（学部）
8. 臨地実習委員長（学部）
9. 管理栄養士国家試験対策委員長（学部）
10. 健康栄養学部研究倫理専門審査委員（学部）
11. 健康栄養学部国際交流ワーキング（学部）
12. 学年担当（平成 25 年度入学生）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. NPO 法人 ケアプランニング NEST 理事
3. 在宅療養者の栄養ケアを考える会 世話人
4. 一般社団法人栄養ケア推進基金栄養指導支援システムアドバイザー
5. 健康長寿センター体験型セミナーin 津野町（健康栄養学部） 実施
6. 健康長寿センター体験型セミナーin 土佐山（社会福祉学部） 参加

I. 教育活動

【学部】

- ・人体の構造と機能 I
- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・生化学 I (オムニバス)
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 教務委員会委員
2. 人権委員会委員
3. 動物実験審査委員
4. COCワーキンググループ委員
5. 学部運営委員 (学部)

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 高知県衛生研究所研究協議会委員

【講演・講習会】

1. 介護食士2級養成講座 (RKC調理師学校) 「生活習慣病について」 2014年4月26日
2. 高知小津高校出前授業 「体脂肪を燃やしてエネルギーを使おう」 2014年6月26日

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品の栄養素と機能
- ・食材学
- ・卒業研究
- ・食品学実験
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・管理栄養士国家試験対策講座

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・食品科学論 I
- ・食物科学論

【大学院・健康生活科学研究科 (博士後期課程)】

- ・食品機能学

【非常勤】

- ・RKC 調理師学校

II. 研究活動

【著書】

1. 渡邊浩幸 (2015) 食べ物と健康 食品の加工 (太田英明ら編), p 159-62. 南江堂, 東京.
2. 渡邊浩幸 (2015) 食べ物と健康 食品の科学 (太田英明ら編), p 132-34. 南江堂, 東京.

【論文】

1. K. Yoshinagaa, K. Sasaki, H. Watanabe, K. Nagao, Nao I. Bungo Shirouchi, T. Yanagita, T. Nagai, H. Mizobe, K. Kojima, F. Beppu, N. Gotoh (2014) Differential effects of triacylglycerol positional isomers containing n-3 series highly unsaturated fatty acids on lipid metabolism in C57BL/6J mice. *J. Nutr. Biochem* **26**, 57-63.
2. F. Beppu, K. Konno, T. Kawamatsu, T. Nagai, K. Yoshinaga, H. Mizobe, K. Kojima, H. Watanabe, and N. Gotoh (2015) Comparison on the catabolism rate of ¹³C labeled palmitic acid binding at between alpha and beta position of triacylglycerol using expired gas from mouse. *Eur. J. Lipid Sci. Technol.*, **117**, 718-723.

【学会発表】

1. 小築康弘, 川村真美, 中島有里, 奥原康英, 伊藤幸彦, 笹田怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸, 植物ステロールおよびエルゴステロールのマウス大腸癌細胞増殖抑制効果, 第 68 回日本栄養食糧学会, 札幌 (2014. 6. 1)
2. 渡邊浩幸, 川村真美, 河野敏夫, 川北浩久「銀不老豆」含有でんぷんの栄養特性, 第 35 回日本肥満学会, 宮崎 (2014. 10. 25)
3. 渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男 高知県立大学を核とした食品生産管理高度化支援体制, 第 12 回産学連携学会, 諏訪 (2014. 6. 25)
4. 渡邊浩幸, 小築 康弘, 高脂肪食誘導肥満モデルマウスへのケイ素水の投与と血清グルコース及び関連する代謝因子に及ぼす作用, 第 21 回日本未病システム学会学術総会, 大阪 (2014. 11. 2)

5. 島田郁子, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 倉尾 美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸, 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響, 日本食品保蔵学会第 63 回大会 (2014. 6. 28)
6. 田中守, 渡邊慶子, 渡邊浩幸, 香西はな, 岡本威明, 牛乳カゼイン由来ペプチドの抗アレルギー効果, 第 34 回食事療法学会, 仙台 (2015. 3. 28)

【報告書】

1. 赤松利恵, 石川みどり, 石田裕美, 加藤昌彦, 狩野恵美子, 川久保清, 川島由起子, 木戸康博, 合田敏尚, 鈴木志保子, 伊達ちぐさ, 塚原丘美, 内藤義彦, 弘津公子, 藤岡由夫, 丸山千寿子, 吉池信男, 和田政裕, 渡邊浩幸 (2015) 管理栄養士国家試験出題基準 (ガイドライン) 改定検討会 報告書 厚生労働省, p 1-31.

Ⅲ. 委員会活動

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 産官学研究部会 | 3. 学部運営委員 (学部) |
| 2. 地域課題研究部会 | 4. 就職担当 (学部) |

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本食品科学工学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエーター (FBC) 人材創出 講義担当
6. 高知県食品産業研究会チーフアドバイザー
7. 高知県事業診査アドバイザー

【講演・講習会】

1. 高知県食品衛生協会研修会講演 2014 年 6 月 18 日
2. 高知大学 CST プログラム「食と生活環境 3」講師 2014 年 10 月 19 日
3. にし阿波・野菜健康フェスタ講演 2014 年 8 月 24 日
4. 栄養改善と食環境整備に関する研修会講演 2015 年 1 月 15 日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (挑戦的萌芽研究) : 平成 25 年度「高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立」
2. 平成 26 年度高知県地域研究成果事業化支援事業 : 「飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発」

【学内】

1. 平成 26 年度地域連携事業 : 「県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化」

I. 教育活動

【学部】

- ・公衆栄養学 I
- ・公衆栄養学 II
- ・地域公衆栄養学実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・生活技術援助 III (社会福祉学部)
(オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

II. 研究活動

【論文】

1. Reiko Aramaki, Yoshiteru Akezaki, Mizuho Nonomura: The effect of lifestyle habit factors on visceral fat accumulation in working people. *J. Miyou System Association*, **20**, 1-7 (2014)
2. 石川麻衣, 池田光徳, 池添志乃, 荒牧礼子, 首藤ひとみ, 塚原和香奈: 地方自治体と高知県立大学との包括連携事業に参加した教職員の感じる成果と課題, 高知県立大学紀要第 **64**, 85-92 (2015)
3. 川上佳久, 明崎禎輝, 荒牧礼子, 有光一樹, 笹村聡, 野村卓生: 脳卒中片麻痺患者における更衣動作自立に必要な下肢 Brunnstrom Recovery Stage の目標値. 高知リハビリテーション学院紀要 **16**, 9 -12 (2014)

【学会発表】

1. Reiko Aramaki, Kazuo Oginuma: CHANGES IN EATING HABITS RESEARCHED USING A COOKERY BOOK TITLE SEARCH” ID151, 6th ACD (2014)
2. Reiko Aramaki, Mizuho Nonomura: The effectiveness of nutrition education program “Syoku-shindan” among working people 2004-2013. 第 5 回 日中食育文化フォーラム, ハルビン, 2014 年 8 月
3. 荒牧礼子, 深川貴世, 野々村瑞穂: 勤労者層を対象とした「食」診断の経年実施による栄養指導効果, 第 21 回日本未病システム学会総会, 大阪, 2014 年 11 月
4. 水島直子, 荒牧礼子, 渡邊慶子: 挙児希望あるも糖尿病治療への意欲に乏しく食事療法指導に難渋した 1 症例, 第 21 回日本未病システム学会総会, 大阪, 2014 年 11 月

III. 委員会活動

1. 健康長寿運営委員
2. 国際交流委員: 2015 年 3 月 5 日~3 月 16 日 マレーシア国立サバ大学研究交流、学生引率
3. 健康栄養学部研究倫理審査委員長 (学部)
4. 臨地実習委員 (学部)
5. 学年担当 (平成 24 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会理事
2. 日本未病システム学会評議員
3. 日本栄養・食糧学会員
4. 日本栄養改善学会員
5. 日本食育学会員
6. 土佐市プロジェクトメンバー
7. 高知県歯と口の健康推進検討会 母子歯科保健対策ワーキング委員
8. 地域雇用創出推進協議会 講師
9. 日本野菜ソムリエ協会 野菜ソムリエ養成講座講義担当

【講演・講習会】

1. 土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」平成26年7月16日 土佐清水市 三崎市民センター
2. 土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」平成26年9月18日 土佐清水市社会福祉センター
3. 健康長寿公開講座体験セミナー「認知症についてどのくらいご存知ですか」津野町総合福祉センター 平成26年11月9日（日）
4. 高知県栄養士会生涯教育講座「国民の健康の増進の総合的な推進」平成26年10月4日
5. 食生活講演会「栄養と健康」平成26年11月23日 愛知県田原町 田原市役所
6. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成26年7月12日（土）、7月13日（日）、12月7日（土）
7. 植物油講演会 コーディネーター 高知市 高知商工会館 平成27年1月10日（土）

I. 教育活動

【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・生化学 I(オムニバス)
- ・介護等体験 (家庭科)
- ・教育実習 I (家庭科)
- ・教育実習 II (家庭科)
- ・教職実践演習 (家庭科)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)
- ・栄養・生活特論 II (オムニバス)

II. 研究活動

【論文】

1. Yumioka-Ito H, Misaki R, Yokoro M, Suzuki M, Yamashita H, Hiemori-Kondo M, Kimoto M, Kato K, Fujiyama K, Tsuji H (2014). Cloning of a cDNA encoding the Gly m Bd 28K precursor and its vacuole transport in tobacco BY2 suspension-cultured cells. *J Nutr Sci Vitaminol* **60**, 129-39.
2. Kawakami Y, Hirano S, Kinoshita M, Otsuki A, Suzuki-Yamamoto T, Suzuki M, Kimoto M, Sasabe S, Fukushima M, Kishimoto K, Izumi T, Oga T, Narumiya S, Sugahara M, Miyano M, Yamamoto S, Takahashi Y (2014). Neutralization of leukotriene C₄ and D₄ activity by monoclonal and single-chain antibodies. *Biochim Biophys Acta* 1840(6), 1625-33.

【学会発表】

1. 森本亮祐, 大森由香子, 鈴木麻希子, 山本登志子, 山本沙也加, 野村奈央, 山下広美, 高橋吉孝, 木本眞順美. 40S リボソームタンパク質サブユニット 2 (RPS2) はラット組織における主要なアルギニンメチル化タンパク質である, 第68回日本栄養・食糧学会, 札幌市 (2014. 5. 30~6. 1)
2. 山本登志子, 津嘉山泉, 高藤美樹, 瀧内理沙子, 鈴木麻希子, 荒川俊哉, 川上祐生, 高橋吉孝. 自然薯のプロスタグランジン E2 合成系抑制と皮膚がんモデルにおける抗腫瘍効果, 第68回日本栄養・食糧学会, 札幌市 (2014. 5. 30~6. 1)
3. 鈴木麻希子, 中西志帆, 森本亮祐, 山下広美. 卵白アレルゲン L-PGDS の Cys60 が OVA 特異的 IgE 上昇作用に及ぼす影響, 第87回日本生化学会大会, 京都市 (2014. 10. 15~18)

【報告書】

1. 鈴木麻希子 (2014) 卵アレルギー発症に鶏卵白中 L-PGDS が及ぼす影響とその作用機序の解明. P. 71-73. 平成 25 年度 研究報告概要集, 一般財団法人 旗影会, 東京
2. 鈴木麻希子 (2014) 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業「慢性腎臓病料理教室」. P. 83-89. 平成 26 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書, 高知県立大学健康長寿センター, 高知

Ⅲ. 委員会活動

1. 共通教育部会員
2. 教職課程専門委員（家庭科）
3. 教員免許状更新講習実施部会委員
4. 学年担当（2014年度入学生）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員

【講演・講習会】

1. 丸の内高校出前講座（高大連携）「高知県立大学健康栄養学部」2014年12月8日
2. 土佐女子高校出前講座（高大連携）「思春期、青年期の栄養」2014年3月13日
3. 平成26年度家庭科教員免許更新講習（家庭科）講師，高知県教育委員会，2014年8月8日
4. 平成26年度生涯教育 基本研修会 「栄養素の消化と吸収（代謝）」講師，高知県栄養士会，2014年9月21日
5. 家庭的保育の研修講義，講師，高知県教育委員会，2014年9月27-28日
6. 平成26年度生涯教育実務研修会 「栄養生理 栄養素と代謝」講師，高知県栄養士会，2015年2月21日

【その他】

高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業「慢性腎臓病料理教室」スタッフ，2014年11月29日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金（若手研究(B)）：平成26年度「加齢・生活習慣病のタンパク質アルギニンメチル化への影響とアルツハイマー病への役割」

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

II. 研究活動

【論文】

1. P. Khaoian, H. Ogita, H. Watanabe, M. Nishioka, F. Kanosue, Hung Phuc Nguyen, H. Fukada and T. Masumoto (2014) Effects of Taurine Supplementation to Low Fish Meal Practical Diet on Growth, Tissue Taurine Content and Taste of 1 Year Yellowtail *Seriola quinqueradiata*. *Aquaculture Sci.*, **62**, 415-23.

III. 委員会活動

1. 学生委員
2. キャリア支援部会委員
3. 学部報編集委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

【講演・講習会】

1. 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 (土佐 FBC II) 講師 2014 年 9 月 26 日
2. 高知県立岡豊高等学校ガイダンス「食物・栄養」2014 年 10 月 17 日
3. 香川県立高松東高等学校 大学訪問「健康栄養学部について」2015 年 3 月 25 日

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習 I・II
- ・給食経営管理臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・管理栄養士総合演習 II
- ・卒業研究

II. 研究活動

【論文】

1. 岡本威明, 岡部麻未, 田頭歩佳, 篠原一作, 島田郁子, 田中守 (2014) 主観的幸福度の調査－12の生活環境要因を指標として－. 愛媛大学教育学部研究紀要. 149-158
2. 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男 (2014) 東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化. (2014) 日本災害食学会誌. Vol. 1. No. 1 : 29-33
3. 廣内智子, 田中守, 島田郁子 (2014) 震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響. 日本病態栄養学会誌. 17(2) : 231-128

【学会発表】

国際学会発表

1. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Fumi Tanaka, Madoka Miyazaki and Hiroyuki, Watanabe. How can we improve eating rate for elderly? Application of a meat softener to elderly. The 2nd Asian Food Safety and Security Association, Dong Nai University, Viet Nam(2014. 8. 15)
2. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi and Hiroyuki Watanabe. Simple foods for the elderly: Application of a meat softener to chicken eggs. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan(2014. 8. 23)
3. Ikuko Shimada, Mako Shikiji, Riho Higashida, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata, Mitsuru Nanbu, Kazue Shimomoto and Shojiro Takahashi. Can students revitalize the rural area through rice project? The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan(2014. 8. 23)
4. Mamoru Tanaka, Hana Kozai, Yoshinobu Yoshimoto, Ikuko Shimada, Tomoko Hirouchi, Ayuka Tagashira and Takeaki Okamoto. Sensitization and elicitation of an allergic reaction to lysozyme from hen egg white in mice. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan(2014. 8. 22)
5. Tomoko Hirouchi, Ikuko Shimada, Mamoru Tanaka and Kazuo Oginuma. An analysis of meal images of victims after the great east Japan earthquake. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan(2014. 8. 23)

国内学会発表

1. 島田郁子, 沼田 聡, 田中 守, 廣内智子, 倉尾 美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸. 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響. 日本食品保蔵科学会, 長野 (2014. 6. 28)
2. 渡邊浩幸, 島田郁子, 岡田英, 河野淑子, 荻沼一男. 高知県立大学を核とした食品生産管理高度化支援体制. 産学連携学会, 長野 (2014. 6. 26)
3. 沼田聡, 島田郁子. 卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発. 日本給食経営管理学会, 京都 (2014. 11. 30)

4. 島田郁子, 須内瑠璃, 中島佐知子, 橋爪悠里, 針尾薫, 藤本正洋, 沼田聡. 給食経営管理実習における献立の年次推移と特徴について. 日本給食経営管理学会, 京都 (2014. 11. 30)
5. 沼田聡, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 藤原沙貴, 田中守, 島田郁子. 食肉軟化剤による鶏卵の軟化および高齢者の喫食率の検討. 第34回食事療法学会, 仙台 (2014. 3. 29)

【報告書】

1. 島田郁子 (2015) 食から見えるマレーシア. 教育実践報告. ふまにすむす第26号 p28-31.
2. 高知あいうえお塩分表 (2015) 高知県立大学健康長寿センター活動報告書. p54-55.

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. センター入試部会員
3. 健康管理センター委員
4. 国際交流 WG メンバー
5. 臨地実習委員会

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員
3. 学生プロジェクト立志社中 COME☆RISH 専任教員

【講演・講習会】

1. 生産管理高度化研修特別講座 「大量調理における衛生管理」2014年9月26日
2. 高知県栄養士会生涯学習教育研究会 基本研修 栄養食事基準の作成 講師 2014年12月21日
3. 香川県研究教育部・勤労者支援部研修会「災害時の食生活・食事」講師 2015年2月7日
4. マレーシアサバ大学 食品科学・栄養学部 「幸福度比較 マレーシアと日本人学生」「学生プロジェクトについて」講義 2015年3月12日
5. スーパーグローバルハイスクール事業 課題研究講師, 愛媛県立松山東高等学校, 2014年9月18日, 2015年2月12日 (愛媛大学教育学部)

【その他】

1. 子育て応援団 すこやか2014 RKC高知放送 2014年7月26, 27日
2. 学会運営 The 2nd Asian Food Safety and Security Association, Dong Nai University, Viet Nam 2014年8月15-17日
3. 高知家 あったか家族フェア 高知県少子対策課・高知県少子化対策推進県民会議 2014年11月3日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 公益信託高知新聞・高知放送: 2014年度「生命の基金」50万円

【学内】

1. 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業:
「国際理解につなげる多民族国家との幸福度比較」40万円

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・卒業研究
- ・栄養学と人間（共通教養）
- ・土佐の自然と暮らし（共通教養）
（オムニバス）
- ・地域学（共通教養）（オムニバス）
- ・専門職連携概論（共通教養）（共担）

II. 研究活動

【論文】

1. 廣内智子, 田中守, 島田郁子 (2014), 震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響, 日本病態栄養学会誌 17 (2), p231-238.
2. 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男 (2014), 東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化, 日本災害食学会誌 Vol. 1, No1, p29-33.
3. 松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 藤原政嘉, 日本栄養士会 (2014), 東日本大震災における栄養士の活動と今後の取り組み, 日本災害食学会誌 Vol. 1, No1, p45-48.

【学会発表】

1. 島田郁子, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 倉尾美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸. 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響. 第 63 回日本食品保蔵科学会, 長野 (2014 年 6 月 28 日)
2. T. Hirouchi, I. Shimada, M. Tanaka, K. Oginuma. Change from meal images of the victim just after the great east japan earthquake disaster. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan. (2014. 8. 21-24)
3. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, H. Watanabe, Simple food for the elderly : application of a meat softener to chicken eggs, The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan. (2014. 8. 21-24)
4. M. Tanaka, H. Kozai, Y. Yoshimoto, I. Shimada, T. Hirouchi, A. Tagashira, T. Okamoto, Sensitization and elicitation of an allergic reaction to lysozyme from hen egg white in mice, The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei, Taiwan. (2014. 8. 21-24)
5. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, F. Tanaka, M. Miyazaki, H. Watanabe, How can we improve eating for elderly? Application of a meat softener to elderly, Asian Food Safety and Security Association, Vietnam. (2014. 8. 15-17)

【報告書】

1. 廣内智子 (2014) JDA-DAT 研修報告「早朝ミッションについて」. 第 34 号栄養士佐はちきん, p 8.

III. 委員会活動

1. 生涯学習部会
2. 災害対策プロジェクト委員
3. 管理栄養士国家試験対策委員

4. 医療センター連携委員
5. 臨地実習委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会生涯教育委員
2. 公益社団法人日本栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会会員
4. 日本臨床栄養学会会員
5. 日本病態栄養学会会員
6. 日本静脈経腸栄養学会会員
7. 日本咀嚼学会会員
8. 日本災害食学会会員
9. 日本栄養改善学会会員
10. 日本栄養・食糧学会会員
11. 日本重症心身障害学会会員
12. 日本公衆衛生学会会員

【講演・講習会】

1. 高知県栄養士会第4回生涯教育基本研修講師, 「対象者の把握」高知県立大学 2014年12月21日
2. 高知市立五台山小学校防災キャンプ講演講師, 「災害と栄養」高知市立五台山小学校 2014年12月6日
3. 食から始まる健康長寿事業講師, 対象者(高血圧症の高齢者)の背景に応じた料理およびアドバイス, 仁淀川町高齢者生活福祉センターなごみの里 2014年12月12日

I. 教育活動

【学部】

- ・生化学実験
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・栄養教育論実習Ⅱ
- ・こころと身体活動
- ・運動生理学

【全学】

- ・栄養と健康の歴史
- ・土佐の自然と暮らし (オムニバス)

【非常勤】

- ・高知情報ビジネス専門学校製菓製パン科 食品学

II. 研究活動

【論文】

1. 岡本威明, 岡部麻未, 田頭歩佳, 篠原一作, 島田郁子, 田中 守 (2014) 主観的幸福度の調査-12 の生活環境要因を指標として-. 愛媛大学教育学部紀要 **61**, 149-159
2. 吉本好延, 田中 守, 神谷将人, 佐藤 圭 (2015) 高齢者の転倒と外傷の発生状況に関する知見の整理. 四国公衆衛生学会雑誌 **60**, 97-102
3. Y. Yoshimoto, Y. Ooyama, M. Tanaka (2015) Different cutoff values of 10-m walking speed simply classify walking independence in stroke patients with or without cognitive impairment. *The Journal of Physical Therapy Science*, in press

【学会発表】

1. 岡本威明, 平野絢子, 田頭歩佳, 田中 守. In vivo, in vitro 系におけるイミダゾールペプチドの抗アレルギー効果, 日本家政学会第 66 回大会, 福岡 (2014. 5. 25)
2. 田頭歩佳, 田中 守, 岡本威明. ヒト好酸球の走化性と IL-8 レセプター発現に及ぼす不純物 PAA の影響, 日本家政学会第 66 回大会, 福岡 (2014. 5. 25)
3. 島田郁子, 沼田 聡, 田中 守, 廣内智子, 倉尾 美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸. 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響, 日本食品保蔵科学会第 63 回大会, 長野 (2014. 6. 28)
4. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T Hirouchi, F. Tanaka, M. Miyazaki, H. Watanabe. How can we improve eating rate for elderly? Application of a meat softener to elderly. The 2nd Asian Food Safety and Security Association, Dong Nai (2014. 8. 15)
5. M. Tanaka, H. Kozai, Y. Yoshimoto, I. Shimada, T. Hirouchi, A. Tagashira, T. Okamoto. Sensitization and elicitation of an allergic reaction to lysozyme from hen egg white in mice. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei (2014. 8. 22)
6. T. Okamoto, J. Hirano, A. Tagashira, T. Sugahara, M. Tanaka. Anti-allergic effect of imidazole peptides *in vivo* and *in vitro*. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei (2014. 8. 22) (優秀ポスター賞受賞)
7. T. Hirouchi, I. Shimada, M. Tanaka, K. Oginuma. An analysis of meal images of victims after the great east japan earthquake. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei (2014. 8. 22)

8. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, H. Watanabe. Simple foods for the elderly: Application of a meat softener to chicken eggs. The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei (2014. 8. 23)
9. I. Shimada, M. Shikiji, R. Higashida, M. Tanaka, S. Numata, M. Nanbu, K. Shimomoto, S. Takahashi. Can students revitalize the rural area through rice project? The 6th Asian Congress of Dietetics, Taipei (2014. 8. 23)
10. 楠瀬和佳奈, 渡邊慶子, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 野村眞由美, 田中 守, 菅野 尚, 深田順一. 2型糖尿病患者における体組成分析と食事摂取評価について, 日本糖尿病学会中国四国地方会第52回総会, 広島 (2014. 10. 24)
11. 笹沼聖輝, 田中 守, 野口 修平, 菅沼成文, 渡辺高志. TNF- α 産生抑制及び脱顆粒阻害活性に関する高知県産有用植物の評価研究, 日本薬学会第135年会, 神戸 (2015. 3. 27)
12. 田中 守, 渡邊慶子, 渡邊浩幸, 香西はな, 岡本威明. 牛乳カゼイン由来ペプチドの抗アレルギー効果, 第34回食事療法学会, 仙台 (2014. 3. 29)
13. 沼田 聡, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 藤原沙貴, 田中 守, 島田郁子. 食肉軟化剤による鶏卵の軟化および高齢者の喫食率の検討, 第34回食事療法学会, 仙台 (2014. 3. 29)
14. 渡邊慶子, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 吉松香絵, 楠瀬和佳菜, 安田春奈, 田中 守, 森田荘二郎. がん治療時の食事摂取支援食「ぼっちり食」導入の評価, 第34回食事療法学会, 仙台 (2014. 3. 29)
15. 楠瀬和佳奈, 森本智代, 十萬敬子, 佐賀啓子, 渡邊慶子, 野村眞由美, 田中 守, 菅野 尚, 深田順一. 2型糖尿病患者における食事摂取評価と体組成分析との関連性について, 第34回食事療法学会, 仙台 (2014. 3. 29)

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 管理栄養士国家試験対策委員
3. 学年副担任 (2014年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本食糧科学工学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 生物機能研究会会員
5. 公益社団法人日本栄養士会会員
6. 公益社団法人高知県栄養士会会員
7. 公益社団法人高知県栄養士会会員・生涯学習委員会メンバー
8. 日本家政学会会員
9. 高知県産学官連携運営委員会メンバー

【講演・講習会】

1. 愛媛大学公開講座「災害時の食について考えよう～ 来るべき南海トラフ巨大地震に備えて～」2014年7月12日
2. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養連携部会 第3回慢性疾患料理教室「慢性腎疾患 (CKD) 料理教室」2014年11月29日

3. 高知県栄養士会生涯教育基本研修「保健機能食品の分類」2014年12月21日
4. マレーシアサバ大学 食品科学・栄養学部「Welcom to my research in Food Allergy」
講義 2015年3月12日

【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者
2. 高知県立大学準硬式野球顧問

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成 2013-2014 年度「牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか」403 万円
2. 公益信託高知新聞・高知放送：2014 年度「生命（いのち）の基金」50 万円，分担研究
3. 科学研究費補助金 基盤研究 (B) : 平成 2014-2016 年度「アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築」1,183 万円，分担研究
4. 高知県産学官連携産業創出研究推進事業（育成研究支援）：2014 年度「新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索」148.2 万円

I. 教育活動

【学部】

- ・ 給食経営管理実習 I・II
- ・ 基礎栄養学実験
- ・ 応用栄養学実習
- ・ 環境衛生学実習
- ・ 給食経営管理臨地実習
- ・ 臨床栄養学臨地実習 I・II
- ・ 地域実践栄養学臨地実習
- ・ 管理栄養士総合演習 I
- ・ 卒業研究
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座
(給食経営管理) (オムニバス)

【看護学部】

- ・ 栄養学 (オムニバス)

【非常勤】

- ・ 学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校 製菓製パン科 栄養学

II. 研究活動

【著書】

1. 沼田 聡, 橋田誠一 (2015) 食物アレルギーの現状とリスク低減化食品素材の開発, 第3編 アレルゲンの検出・定量およびアレルゲン性評価法, 第1章 in vitro 評価系, 6. 食物アレルギーおよび抗体の高感度 ELISA 法, p101-107. (株)シーエムシー出版, 東京.

【論文】

1. 橋田誠一, 山本真弓, 沼田 聡 (2014) 高感度 ELISA は、こう開発する-基礎と応用-. 臨床化学 43, 121-36

【学会発表】

1. 島田郁子, 沼田 聡, 田中 守, 廣内智子, 倉尾美咲, 木村優美, 平川智依, 藤原沙貴, 渡邊浩幸. 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響, 第63回日本食品保蔵科学会, 長野 (2014. 6. 28)
2. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Fumi Tanaka, Madoka Miyazaki, Hiroyuki Watanabe. How can we improve eating rate for elderly? The 2nd Asian Food Safety and Security Association, Dong Nai (2014. 8. 15)
3. Satoshi Numata, Asako Umehara, Hideki Katakami, Shinobu Inoue, Seiichi Hashida. Development of a novel sensitive enzyme immunoassay for human GAD antibody. The 6th Asian Congress of Dietetics (ACD2014), Taipei (2014. 8. 22)
4. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Hiroyuki Watanabe. Simple food for the elderly: application of a meat softener to chicken eggs. The 6th Asian Congress of Dietetics (ACD2014), Taipei (2014. 8. 23)
5. Ikuko Shimada, Mako Shikiji, Riho Higashida, Eriko Sugisawa, Mamoru Tanaka, Satoshi Numata, Mitsuru Nanbu, Kazue Shimomoto, Shojiro Takahashi. Can students revitalize the rural area through rice project? The 6th Asian Congress of Dietetics (ACD2014), Taipei (2014. 8. 23)
6. 沼田 聡, 島田郁子. 卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発, 第10回日本給食経営管理学会学術総会, 京都 (2014. 11. 30)

7. 島田郁子, 須内瑠璃, 中島左知子, 橋爪悠里, 針尾 薫, 藤本正洋, 沼田 聡, 給食経営管理実習における献立の年次推移と特徴について, 第10回日本給食経営管理学会学術総会, 京都 (2014. 11. 30)
8. 沼田 聡, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 藤原沙貴, 田中 守, 島田郁子. 食肉軟化剤による鶏卵の軟化および高齢者の喫食率の検討, 第34回食事療法学会, 宮城 (2015. 3. 29)

【報告書】

島田郁子, 沼田聡 (2015) あいうえお塩分表. p 54-55. 高知県立大学健康長寿センター, 高知.

Ⅲ. 委員会活動

1. 紀要委員
2. 入試監査委員
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 高知医療センター高知県立大学包括連携事業 あいうえお塩分表作成委員 (学部)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本給食経営管理学会会員
4. 公益社団法人日本栄養士会会員
5. 公益社団法人高知県栄養士会会員

【講演・講習会】

1. RKC 高知放送主催「子育て応援団 すこやか2014」2014年7月26～27日
2. 食品加工生産管理高度化研修補助「大量調理における衛生管理」2014年9月26日
3. 大学訪問模擬授業 (中村中学校) 「栄養ってなんだろう？」2014年10月7日
4. 高知県・高知県少子化対策推進県民会議主催「高知家 あったか家族フェア」2014年11月3日
5. 高知県栄養士会生涯学習講師「実施献立、献立評価、食事管理の改善」2014年12月21日

【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者
2. 高知県立大学準硬式野球部長

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 公益信託高知新聞・高知放送 2014年度「生命 (いのち) の基金」：「酵素分解を用いた保形軟化食品のマニュアル構築に向けて」50万円, 分担研究

【学内】

1. 高知県立大学「科研費」獲得支援助成：「卵白アレルギーに対する超高感度酵素免疫測定法の開発」40万円

I. 教育活動

【学部】

- ・地域公衆栄養学実習
- ・健康情報論実習
- ・環境衛生学実習
- ・食と介護実習
- ・給食経営管理実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II

II. 研究活動

【学会発表】

1. 水島直子, 荒牧礼子, 渡邊慶子. 育児希望あるも糖尿病治療への意欲に乏しく食事療法指導に難渋した1症例, 第21回日本未病システム学会学術総会, 大阪 (2014. 11. 1)

III. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. FD委員
3. 臨地実習委員
4. 学年副担当 (2013年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人高知県栄養士会栄養士佐はちきん編集委員
2. 公益社団法人日本栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本静脈経腸栄養学会
6. 日本栄養改善学会会員
7. 日本未病システム学会会員

【講演・講習会】

1. 公益社団法人高知県看護協会平成26年度糖尿病中期研修講師「食事療法支援のための知識と技術」2014年9月21日
2. 高知県栄養士会生涯学習研修会第4回基本研修講師「食品構成」2014年12月21日

【その他】

1. 健康長寿センター事業 土佐市連携事業「地域ケア会議推進プロジェクト」プロジェクトスタッフ

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・環境衛生学実習

【非常勤】

- ・RKC調理師学校 食文化概論

II. 研究活動

【論文】

1. P. Khaoian, H. Ogita, H. Watanabe, M. Nishioka, F. Kanosue, Hung Phuc Nguyen, H. Fukada and T. Masumoto (2014) Effects of Taurine Supplementation to Low Fish Meal Practical Diet on Growth, Tissue Taurine Content and Taste of 1 Year Yellowtail *Seriola quinqueradiata*. *Aquaculture Sci.*, 62, 415-23.

【その他】

1. 松崎淳子, 三谷英子, 宮脇綾子, 彼末富貴, 寺嶋康正 (2014) 座談会「皿鉢料理 よもやま話 (1)」. 食生活研究 Vol. 34No. 6, 317-323.
2. 松崎淳子, 三谷英子, 宮脇綾子, 彼末富貴, 寺嶋康正 (2014) 座談会「皿鉢料理 よもやま話 (2)」. 食生活研究 Vol. 35No. 1, 13-20.
3. 松崎淳子, 彼末富貴他 (2014) 平成 27 年度版ファミリー日誌. 全国農林統計協会連合会 p156-157, 260
4. 彼末富貴, 永野貴美子 (2014) うまいもんレシピ「赤ムロアジ」. 玉手箱 Vol. 92 p12 (社福) 高知県社会福祉協議会

III. 委員会活動

1. 広報専門委員
2. 学年副担当 (2011 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 嶺北地区アクションプラン嶺北高校「Reihoku Youth Neighbors」新商品開発への協力
2. よい食生活をすすめるネットワーク役員
3. 土佐伝統食研究会会員
4. 公益社団法人日本栄養士会会員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 社団法人日本家政学会会員
7. 社団法人日本調理科学会会員

【講演・講習会等】

1. ソーレまつり 2015 おしゃれな洋食をつくってみよう～親子でご飯づくり～講師 2015 年 1 月 24 日

2. 高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」講師 高知市中央卸売市場
2014年8月2日, 10月4日, 11月2日, 12月6日, 2015年2月7日

【その他】

1. 第3回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市, 2014年11月20日(木)~22日(土)
2. さかな丸ごと食育養成講師認定講座開催協力 2014年6月8日(日)
3. NPO 法人ポレール総会「伝統食で命をつなぐ」試食協力 2014年5月31日(土)
4. ソーレまつり 2015「身近な防災食を考えよう」協力 2015年1月25日(日)

V. 研究助成

【学内】

1. 高知県立大学地域教育研究センター地域連携事業助成:「嶺北産米粉を使った商品開発(おからッティ)」10万円

助手 川村 真美 (KAWAMURA Mami)

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学実験
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・家庭科教員教育実習
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

1. 小築康弘, 川村真美, 中島友里, 奥原康英, 伊藤幸彦, 大里(笹田)怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸 : 「植物ステロールおよびエルゴステロールのマウス大腸癌細胞増殖抑制効果」, 第 68 回日本・栄養食糧学会, 札幌市, 2014 年 6 月 1 日
2. 渡邊浩幸, 川村真美, 河野敏夫, 岡本佳乃, 川北浩久 : 「「銀不老豆」含有でんぷんの栄養特性」, 第 35 回日本肥満学会, 宮崎市, 2014 年 10 月 25 日

III. 委員会活動

1. 災害対策プロジェクト委員
2. 就職担当(学部)
3. 学年副担当(平成 24 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 公益社団法人 日本栄養士会会員
5. 公益社団法人 高知県栄養士会会員

【その他】

1. 第 3 回ものづくり総合技術展 本学展示ブース準備運営協力スタッフ, 高知市, 2014 年 11 月 20 日(木)~22 日(土)

V. 研究助成

【学内】

1. 平成 26 年度地域連携事業 : 「県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化」渡邊浩幸, 川村真美, 川北浩久, 金哲史, 渡邊高志 20 万円

I. 教育活動

【学部】

- ・ 栄養教育論 I
- ・ 栄養教育論 II
- ・ 栄養教育論 III
- ・ 栄養教育論実習 I
- ・ 栄養教育論実習 II
- ・ 学校栄養指導論 I
- ・ 学校栄養指導論 II
- ・ 学校栄養教育実習(事前・事後指導を含む)
- ・ 教職実践演習(栄養)
- ・ 総合演習(管理栄養士)(オムニバス)
- ・ 卒業研究

【大学院】

- ・ 栄養・生活特論 I (オムニバス)
- ・ 栄養・生活特論 II (オムニバス)
- ・ 食生活論演習(オムニバス)

【非常勤】

- ・ 松山大学 薬学部

II. 研究活動

【著書】

1. 本田佳子編 逸見幾代他: Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第10版(2014)、医歯薬出版
2. 逸見幾代・佐藤香苗 編著:改訂 マスター栄養教育論 第1章 栄養教育の概念(2015)、建帛社
3. 市丸雄平・岡純 編 逸見幾代他:「第1章 栄養アセスメント・マネジメント」、第8章 学童期、(2015)、建帛社

【論文】

1. Skipping Breakfast is Correlated with Obesity Yoko Watanabe, Isao Saito, Ikuyo Henmi, Kana Yoshimura, Kotatsu Maruyama, Kanako Yamauchi, Tatsuhiko Matsuo, Tadahiro Kato, Takeshi Tanigawa, Taro Kishida and Yasuhiko Asada, J Rural Med 2014;9(2)51-58
2. 嶋田さおり・西村栄恵・若林良和・逸見幾代:地域の特性を活かした食育の試みとその検証、松山東雲短期大学研究論集 第43(2015)

【学会発表】

1. 西村栄恵・逸見幾代・嶋田さおり・土海一美:青年成人期にある若年者の食生活調査～食育手法を検討するために～第5報、第61回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 72、No. 5、2014
2. 逸見幾代・西村栄恵・嶋田さおり:青年成人期における食事バランスガイドを活用した食育にむけての一考察～5年間の食事内容の時系列分析、第61回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 72、No. 5、2014
3. 嶋田さおり・西村栄恵・逸見幾代:児童の食習慣と学校給食との関連性の検討、第61回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 72、No. 5、2014

Ⅲ. 委員会活動

1. 教職課程専門委員
2. 学部運営委員（学部）
3. 教員免許状更新講習実施部会委員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 産業衛生学会会員
5. 日本食生活学会会員
6. 日本栄養士会雑誌査読委員
7. 愛媛県食の安全安心推進県民会議委員
8. 東温市食育推進協議会委員
9. 愛媛県産業技術評価専門部会委員
10. 東温スタディー運営委員
11. 愛媛県中山間地域等直接支払制度審議委員
12. 愛媛県海区漁区調整委員会委員
13. 高知県食育推進協議会委員
14. よさこいジビエ料理コンテスト審査委員
15. 高知県公立学校教員採用筆記審査問題研究員
16. 香川栄養学園 家庭料理技能検定委員
17. 香友会愛媛支部支部長
18. 日本栄養士会会員

【講演・講習会】

1. 河原学園愛光幼稚舎PTA講演会 講師 2014年11月1日
2. 東温スタディー健診・保健指導参画 2014年7月～11月
3. 痴呆予防のための「シニアスマートライフデザイン」活動
4. 食に関する体験活動「高知県立高知海洋高校水産物加工体験と意見交換会」中四国農政局

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第5号
平成26(2014)年度版

発行日：平成27年7月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話 (088) 847-8700(代)

